

時事経済情報 No. 76

2021年8月24日

福井県立大学客員教授

丹羽連絡事務所チーフエコノミスト

中島 精也

目次

- I 米国経済
- II 欧州経済
- III 中国経済
- IV 日本経済
- V マーケット動向

I 米⼭国経済

1. Fedは年内にもQEの段階的縮小に踏み切る

①7月27～28日のFOMCは現状維持を決定したが、量的緩和 (QE) の段階的縮小 (tapering) については次回9月以降のFOMC meetings (複数) で検討することを示唆した。主な決定事項は

(1)FF金利は0～0.25%を維持、金利のフォワードガイダンスとして「労働市場が雇用の最大化に相応しい水準に到達し、インフレが2%まで上昇し、且つ暫くは2%をやや上回る軌道に乗るまで維持することが適当と考える」

(2)QEのフォワードガイダンスとして「雇用の最大化と物価安定の2つの目標への本格的進展が見られるまで、国債は800億ドル/月、ローン担保証券は400億ドル/月の保有増加を続けると指摘してきたが、昨年12月の会合から今日まで目標に向けた進展が見られたので、**次回以降のFOMC meetingsで進展評価を行う**」→taperingに向けた動き。

(3)「インフレが目標2%を下回って推移しているので、長期的に平均2%インフレ、そしてインフレ期待が2%にアンカーされるよう暫くインフレ2%超えを目指す」

(4)「政策目標達成を危うくするリスクが現れたら金融政策を適切に修正する用意がある」

②パウエル議長はインフレの上振れリスクを認めつつも、インフレ加速は一時的とのFed公式見解を維持。また、労働市場は雇用の最大化の目標からまだ距離があり、もう少し強い数字が出るのを見たい、と早期のtapering に踏み切るには慎重な姿勢をみせた。



2. 米GDPはコロナ前のピークをようやく更新

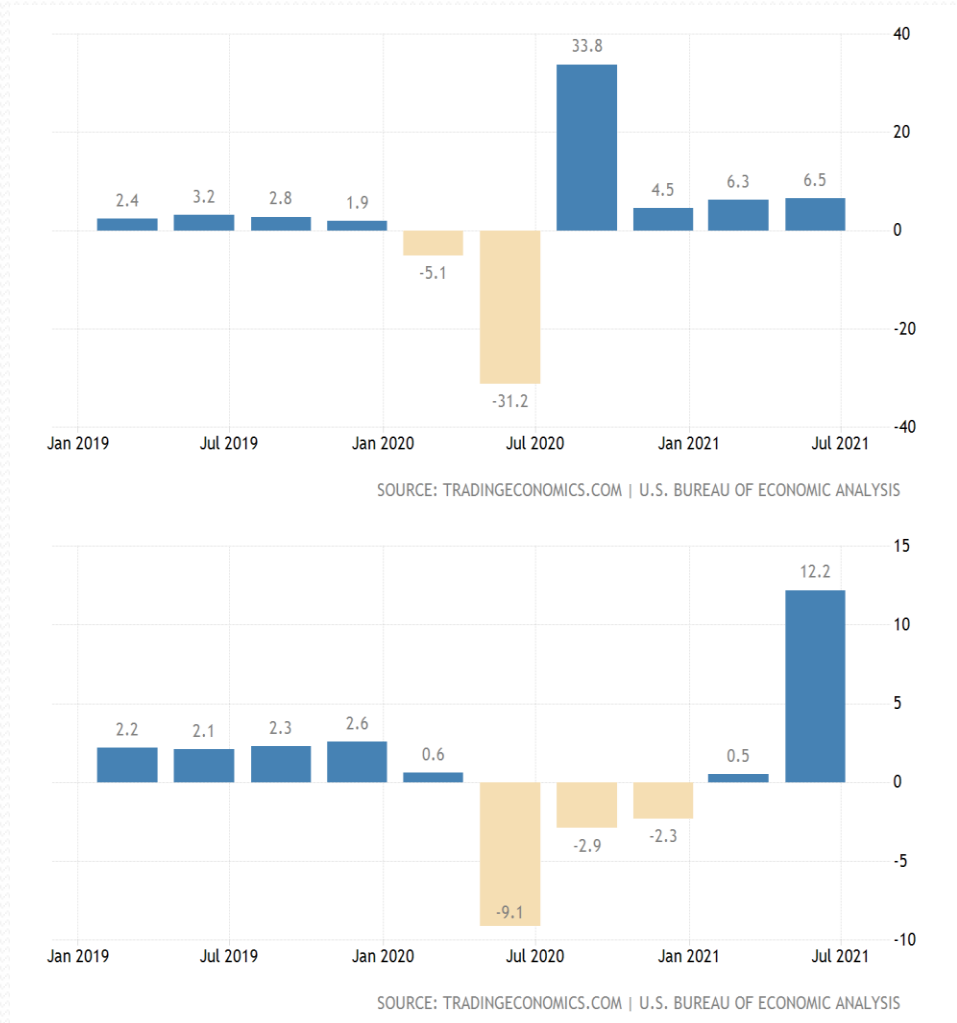
①4～6月期の実質GDP(速報)は19兆3,582億ドルとコロナ前のピーク(19年10～12月期19兆2,023億ドル)を上回る。消費主導の成長で+6.5%(前期比年率、右上図)の伸び、前年比は+12.2%(右下図)とコロナの反動で高い伸び。

②内需の寄与度は+6.94%、外需の寄与度は▲0.44%であった。

③個人消費の伸びは+11.8%(うちモノ+11.6%、サービス+12.0%)、設備投資は+8.0%、在庫投資の寄与度は▲1.13%。住宅投資の伸びは▲9.8%、政府支出は▲1.5%(連邦▲5.0%、地方+0.8%)

④輸出は+6.0%、輸入は+7.8%

⑤名目GDPの伸びは+13.0%、GDP物価指数は+6.0%。



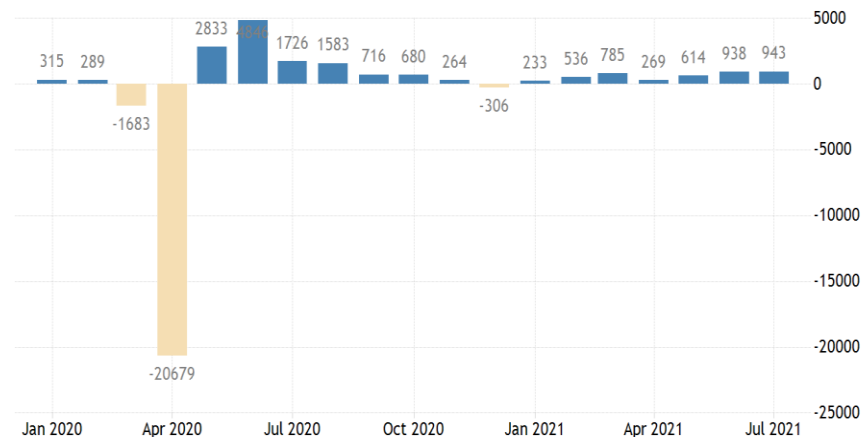
3. 米雇用は緩やかな回復軌道を辿る

①7月の雇用者数の前月比(右上図)は+94.3万人の増加だが、昨年2月のピークに比べ▲570.2万人とコロナ前に戻していない。

②業種別ではレジャー接待+38.0万人、地方政府教育+22.07万人、専門・ビジネスサービス6.0万人。

③失業率(右下図)は▲0.5ポイント低下して5.4%。労働参加率は+0.1ポイント上昇して61.7%。

④時間当たり賃金は前月比11セント上昇して30.54ドルに、前年比は+4.0%と前月より+0.3ポイント伸びが高まる。



SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | U.S. BUREAU OF LABOR STATISTICS



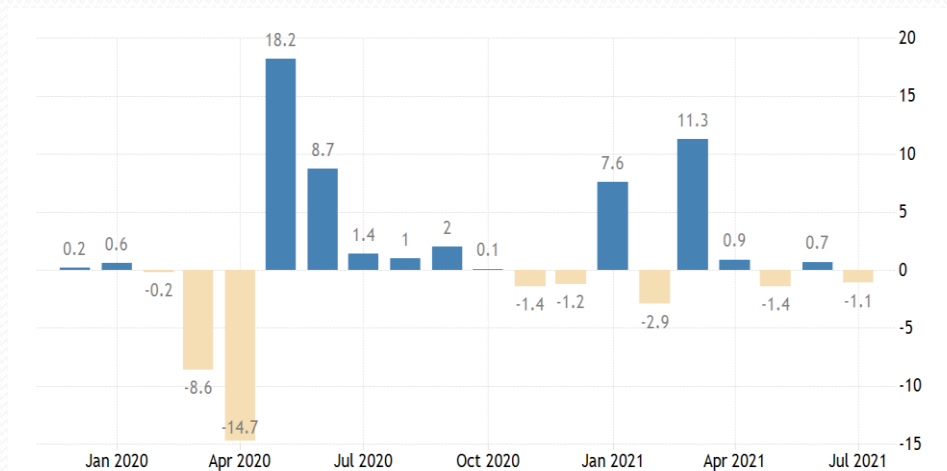
SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | U.S. BUREAU OF LABOR STATISTICS

4. 米国の小売売上高は前年の反動で大幅な伸び

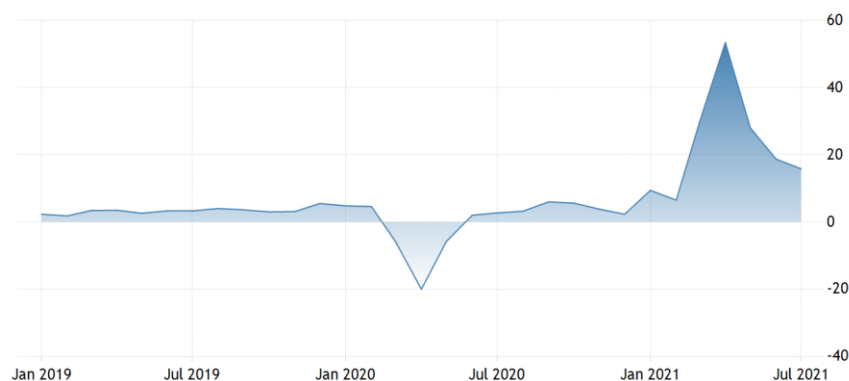
①7月の小売売上高は前月比(右上図)が▲1.1%、前年比(右下図)は+15.8%。前年からの反動増が続く。

②業種別の前月比、前年比は

自動車	▲3.9%、	+15.7%
家具	▲0.6%、	+15.6%
電気製品	+0.3%、	+23.6%
建設資材園芸用品	▲1.2%、	+7.5%
食料品店	▲0.7%、	+2.3%
健康ケア	+0.1%、	+9.2%
ガソリンスタンド	+2.4%、	+37.5%
衣服アクセサリ	▲2.6%、	+43.4%
スポーツ用品・趣味		
・書籍・音楽	▲1.9%、	+13.8%
大規模商業施設	▲0.1%、	+10.9%
無店舗販売	▲3.1%、	+5.9%
飲食業	+1.7%、	+38.4%



SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | U.S. CENSUS BUREAU

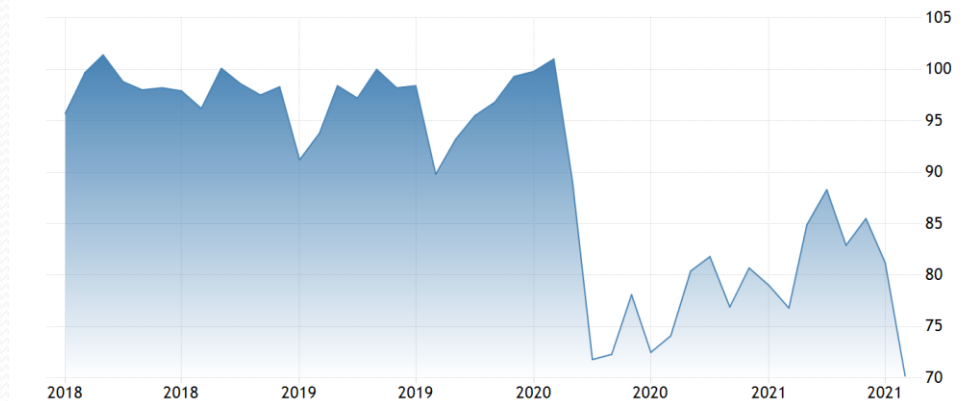


SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | U.S. CENSUS BUREAU

5. 米消費者信頼感指数(ミシガン大)は大幅低下

①8月のミシガン大学消費者信頼感指数(速報、右上図)は、70.2で前月比▲11.0ポイントの大幅低下。インフレ、雇用、個人融資などを不安視。現状指数は84.5から77.9に、期待指数は79.0から65.2に低下

②7月コンファレンスボード消費者信頼感指数(右下図)は129.1と前月比+0.2ポイントの上昇。現状指数は6月159.6 → 7月160.3に上昇、期待指数は6月108.5 → 7月108.4に低下。



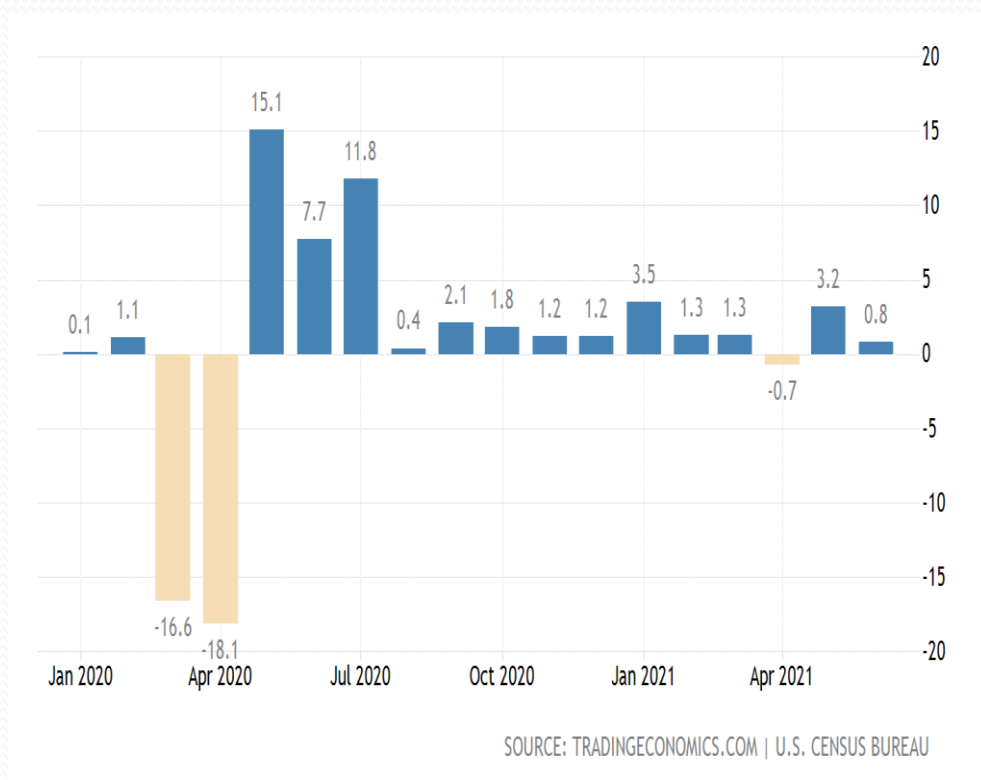
SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | UNIVERSITY OF MICHIGAN



6. 米耐久財新規受注は回復傾向が持続

①6月の耐久財新規受注(速報)は前月比(右図)+0.8%の上昇、前年比は+31.7%。輸送機器を除く耐久財新規受注は前月比+0.3%、国防除く耐久財新規受注は前月比1.0%。

②民間設備投資の先行指標となる非国防資本財から航空機を除いたコア資本財受注は前月比+0.5%。

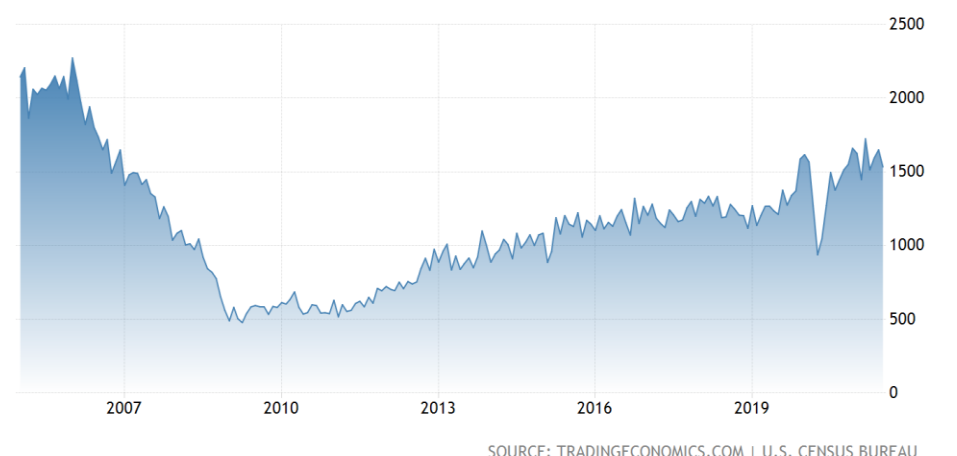


7. 米住宅統計は頭打ちの兆し

①7月の米住宅着工戸数は年率153.4万戸(右上図)、前月比は▲7.0%、前年比は+2.5%。一戸建は前月比▲4.5%、前年比は+11.7%、集合住宅(5件以上)は前月比▲13.6%、前年比は▲16.3%。地域別で前月比、前年比で北東部▲49.3%、▲44.7%、中西部▲6.9%、▲10.5%、南部+2.1%、+5.2%、西部▲11.3%、+23.9%。

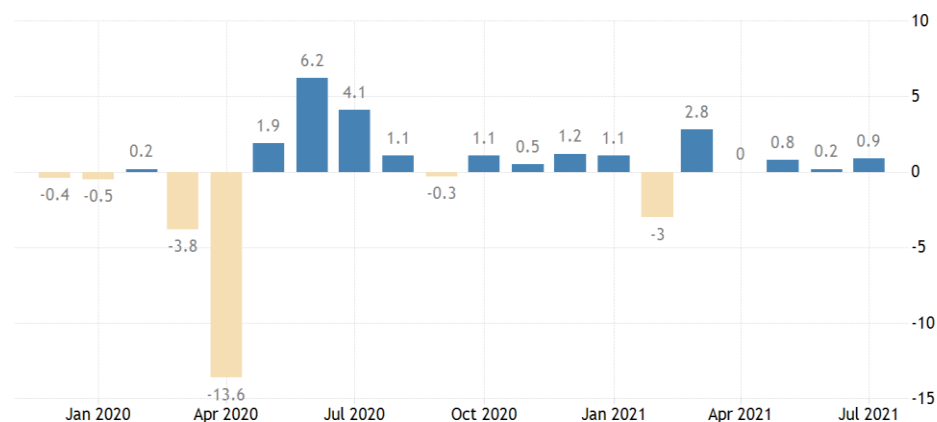
②5月のケースシラー住宅価格指数は前月比(季調済)は+2.1%、前年比+16.6%。

③6月の新築住宅販売戸数(右下図)は年率67.6万戸、前月比▲6.6%、前年比は▲19.4%。うち地域別の前月比、前年比は北東部▲27.9%、▲40.4%、中西部+5.7%、+7.0%、南部▲7.8%、▲24.8%、西部▲5.1%、▲12.7%。販売在庫比率は6.3ヶ月と前月より+0.8ヶ月上昇。



8. 米鋁工業生産は前年の反動増で高い伸び

- ①7月の鋁工業生産指数は前月比+0.9%（右上図）。前年比は+6.6%（右下図）と前年の反動増。
- ②鋁業の前月比は+1.2%、前年比は+12.1%、公益事業の前月比は▲2.1%、前年比▲3.8%。
- ③製造業の前月比は+1.4%、前年比は+7.4%。うち自動車及び部品はそれぞれ+11.2%、▲6.9%、コンピュータ・電子機器は+1.1%、+9.3%、航空機は+1.9%、+16.9%、金属製品▲0.4%、+6.2%、食料・飲料・タバコは+0.1%、+2.6%、化学は+0.2%、+9.0%。
- ④設備稼働率指数（製造業）は76.6と前月を+1.1ポイント上回るが、長期平均78.2を▲1.6ポイント下回る。



SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | FEDERAL RESERVE



SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | FEDERAL RESERVE

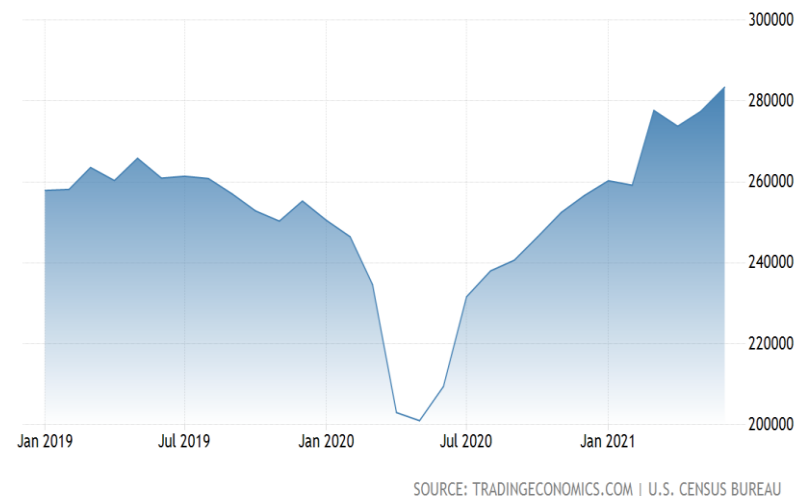
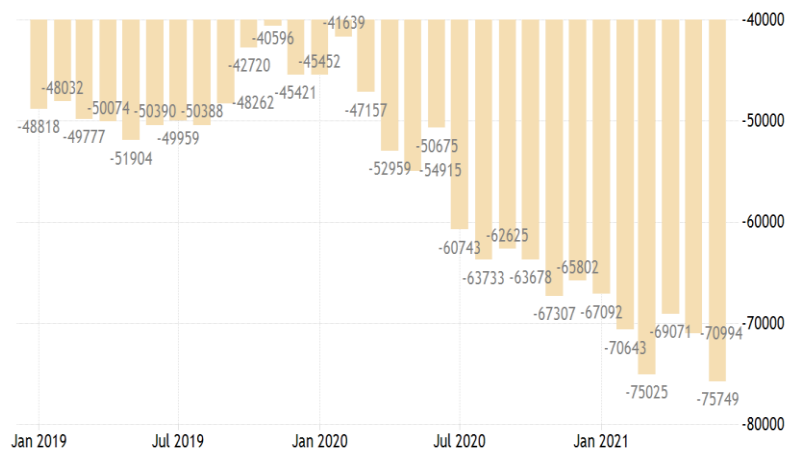
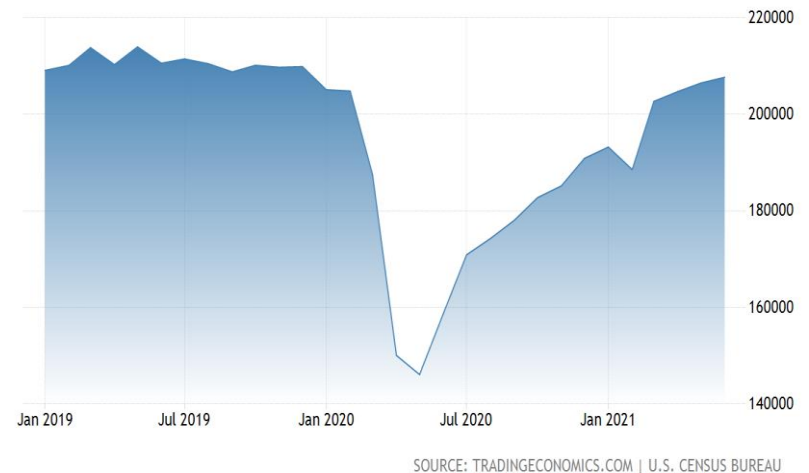
9. 米国の輸出入は改善傾向が続く

①6月の貿易・サービス収支(季調済、左下図)は▲757億ドルと前月比▲48億ドルの赤字増大。

②財・サービス輸出(右上図)は前月比+12億ドルの2,077億ドル(前年比+30.8%)。前月比で工業用原材料+12億ドル、食飲料▲12億ドル。

③財・サービス輸入(右下図)は前月比+60億ドルの2,834億ドル(前年比+35.3%)。前月比で工業用原材料+46億ドル、資本財+8億ドル、消費財▲16億ドル、自動車・部品▲7億ドル。

④対中輸出は121.02億ドルで前年比+31.0%、対中輸入は399.46億ドルで前年比+6.5%。

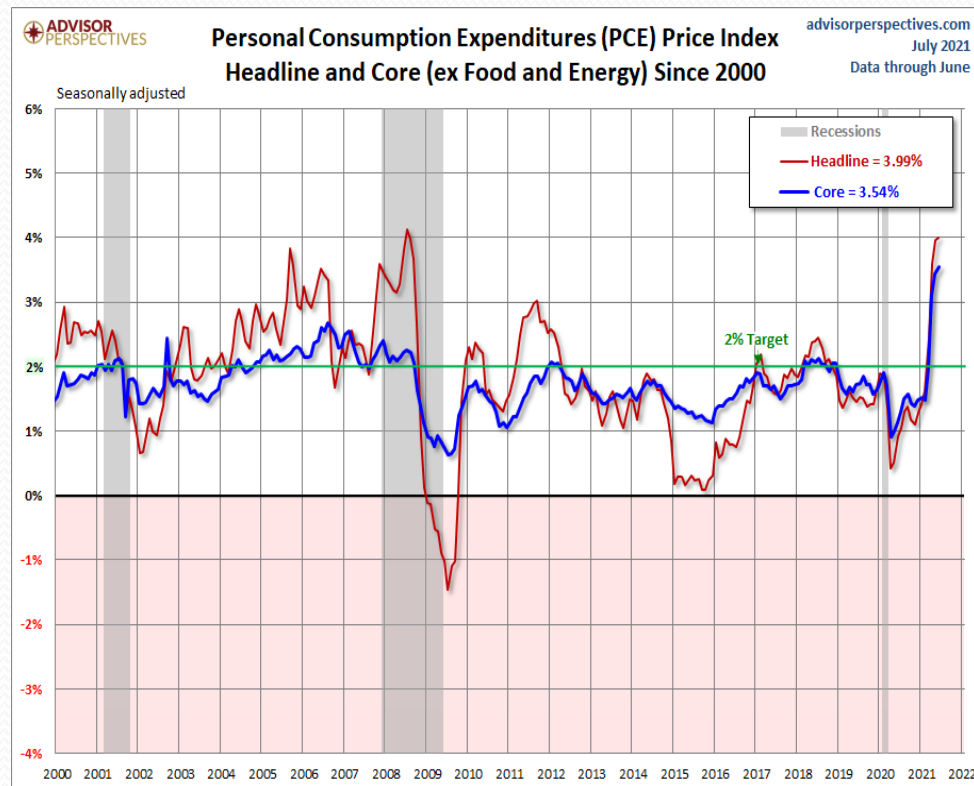


10. 米PCE物価指数は反動で高い伸び続く

①6月のPCE（個人消費支出）総合物価指数の前年比（右図赤線）は+4.0%と前月と変わらず。前月比は+0.5%。

②エネルギーと食料を除くコアPCE物価指数の前年比（右図青線）は+3.5%と前月より+0.1ポイント伸びが高まる。前月比は+0.4%。

③財価格の前年比+5.2%、前月比は+0.7%、サービス価格の前年比は+3.3%、前月比は+0.4%。エネルギー価格の前年比+24.2%、前月比+1.5%。

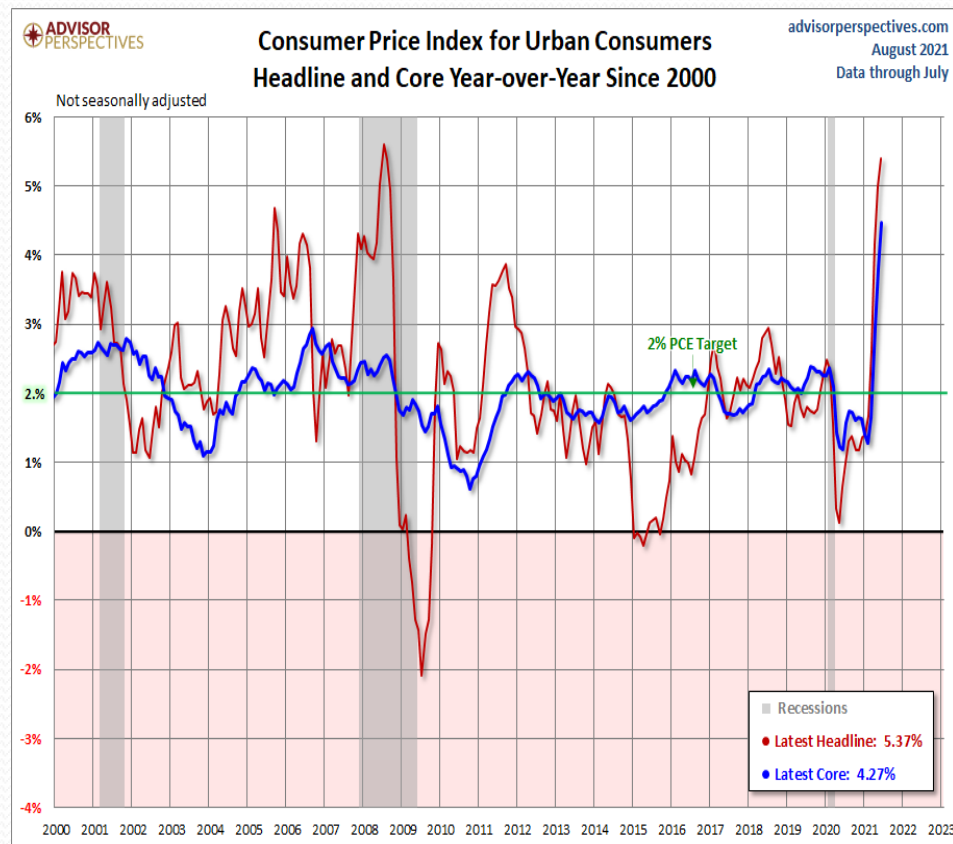


11. 米CPIはエネルギー等が大きく押し上げ

①7月のCPI(消費者物価指数)総合の前年比(右図赤線)は5.4%と前月の伸びと変わらず。前月比は+0.9%。

②エネルギーの前年比は+23.8%(うちガソリン+41.8%、燃料油+39.1%、電気+4.0%、都市ガス+19.0%)、前月比は1.6%(うちガソリンは+2.4%、燃料油は+0.6%、電気+0.4%、都市ガス+2.2%)。

③エネルギーと食料を除くコアCPIの前年比(右図青線)は+4.3%と前月を▲0.2ポイント下回る。前月比は+0.3%。中古車価格の前年比は+41.7%。



12. 米製造業PMI指数は高水準で交錯

①米サプライマネジメント協会
(ISM) 7月製造業PMI指数(右図赤線)
は前月の60.6から▲1.1ポイントの
低下の59.5。項目別前月比では
新規受注▲1.1ポイント

生産▲2.4

雇用+3.0

供給者納入▲2.6

在庫▲2.2

顧客在庫▲5.8

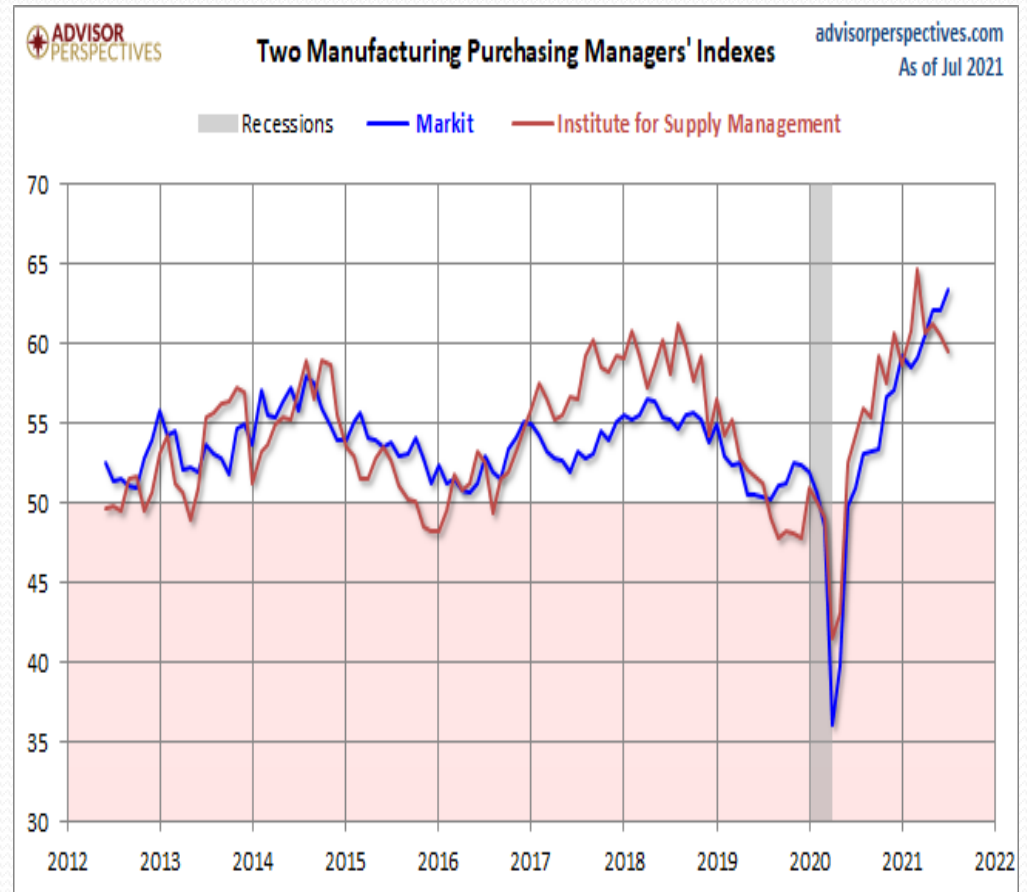
価格▲6.4

受注残+0.5

新規輸出受注▲0.5

輸入▲7.3。

②7月Markit製造業PMI指数(右図青
線)は63.4と前月比+1.3の上昇。





II 欧州經濟

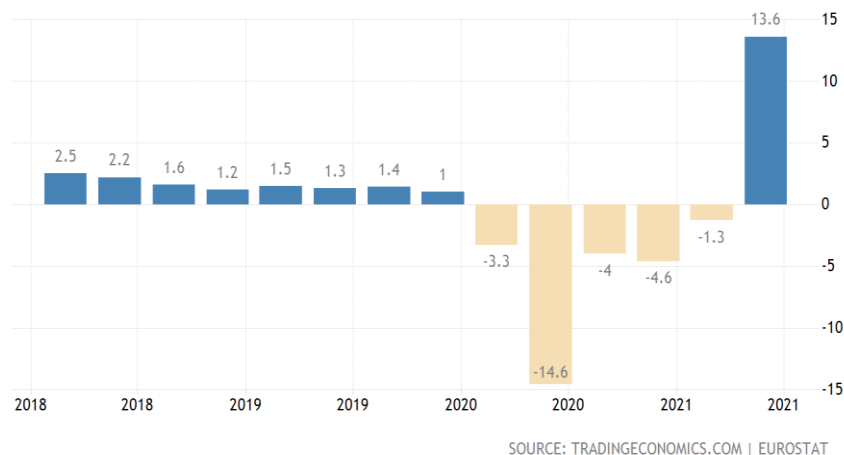
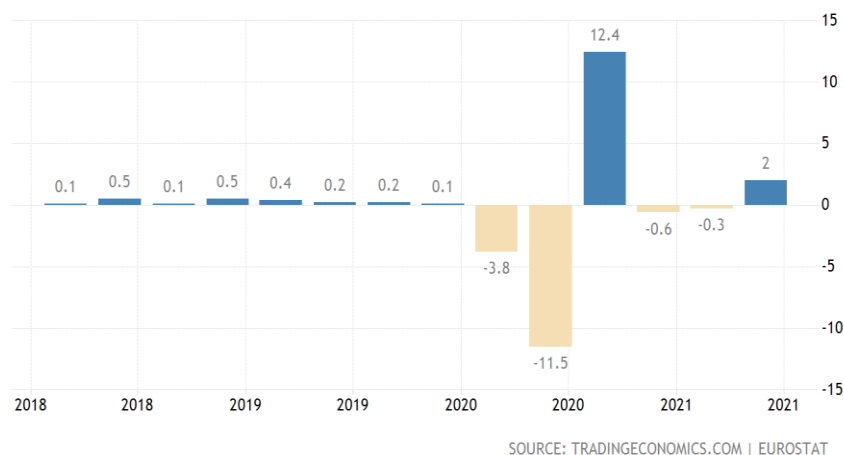
1. ユーロ圏GDP前期比は3期ぶりにプラス成長

①4～6月期のユーロ圏GDP(速報)は前期比(右上図)+2.0%と3四半期ぶりのプラス成長。前年比(右下図)は前年の反動増で+13.6%と6四半期ぶりのプラス成長。

②前期比で独+1.5%、仏+0.9%、伊+2.7%、スペイン+2.8%、ポルトガル+4.9%、オーストリア+4.3%、ベルギー+1.4%。

③前年比で独+9.2%、仏+18.7%、伊+17.3%、スペイン+19.8%、ポルトガル+15.5%、オーストリア+11.4%、ベルギー+14.5%。

④BREXITした英国は前期比+4.8%、前年比+22.2%。

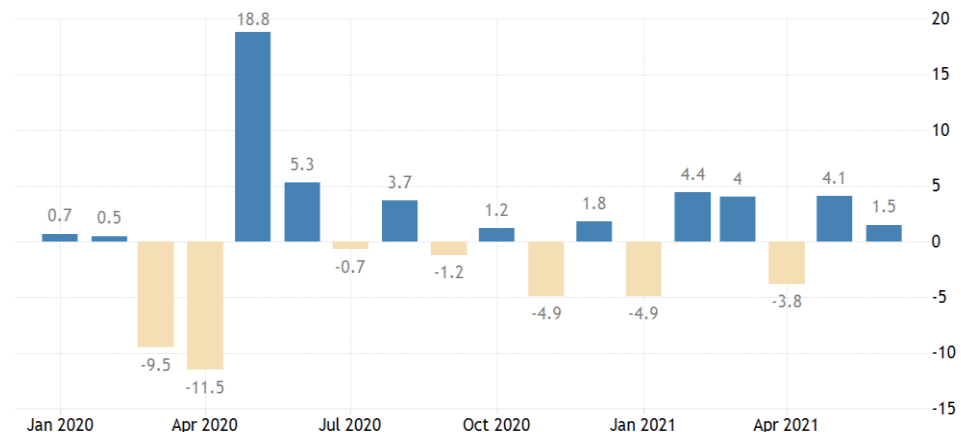


2. ユーロ小売売上高の伸びは正常化に向けて減速

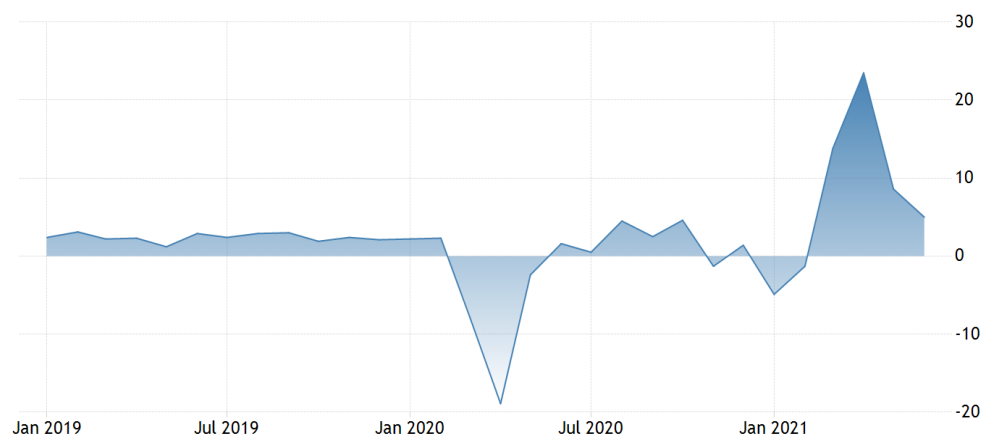
①6月のユーロ圏小売売上高（数量ベース、季調済）は前月比+1.5%（右上図）、前年比（右下図）は+5.0%。

②商品別前月比で食料・飲料・タバコ▲1.5%、非食料製品+3.4%（うち通信販売・インターネット▲2.9%）、自動車燃料+3.8%。

③商品別前年比では食料・飲料・タバコ+1.4%、非食料製品+6.5%（うち通信販売・インターネット+17.7%）、自動車燃料+11.9%。



SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | EUROSTAT

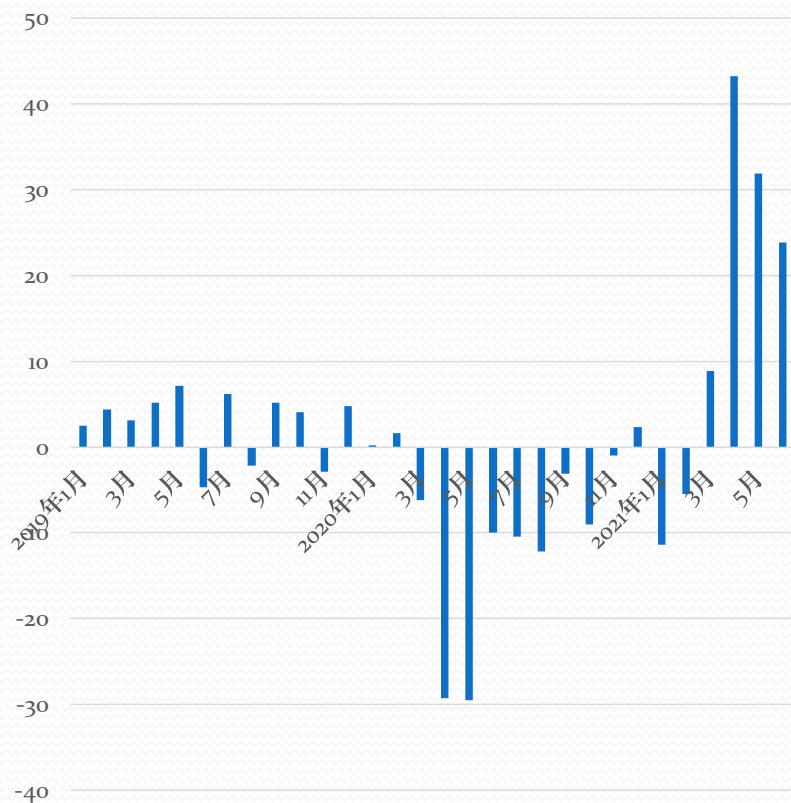


SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | EUROSTAT

3. ユーロ圏の輸出、輸入共に前年の反動増

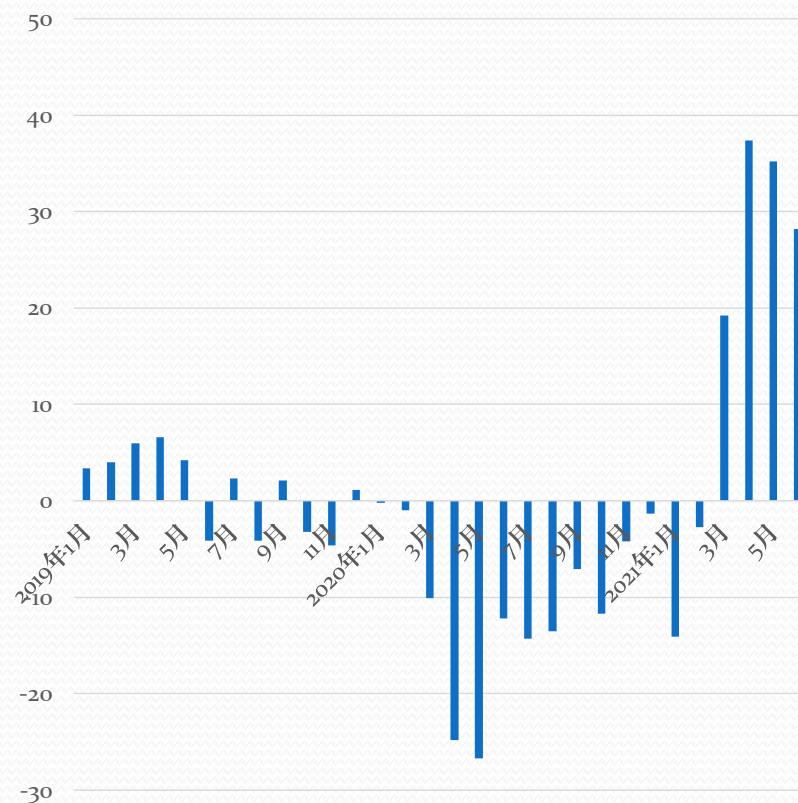
①6月の輸出の伸びは前年比+23.8%

ユーロ圏の輸出の伸び(前年比、%)



②6月の輸入の伸びは前年比+28.2%

ユーロ圏の輸入の伸び(前年比、%)



4. ユーロ圏の鉱工業生産は前年の反動が残る

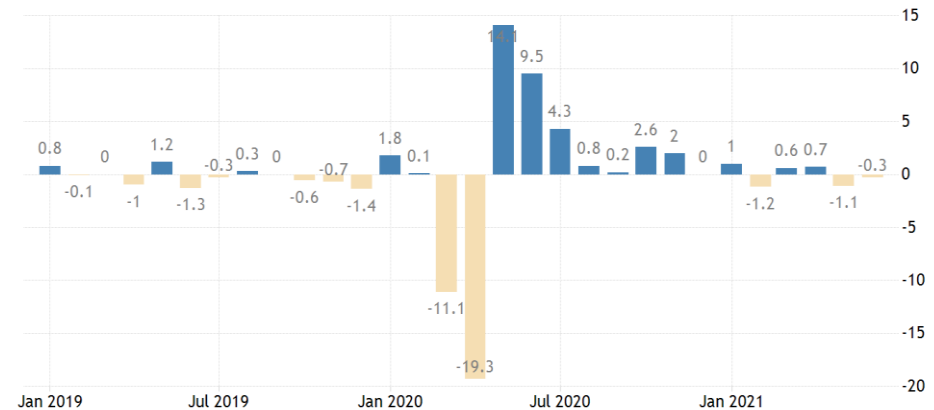
①6月のユーロ圏鉱工業生産は前月比(右上図)▲0.3%、前年比(右下図)は+9.7%と前年の反動が残る高い伸び。

②項目別の前月比は中間財+0.1%、エネルギー▲0.6%、資本財▲1.5%、耐久消費財+0.1%、非耐久消費財+1.6%。

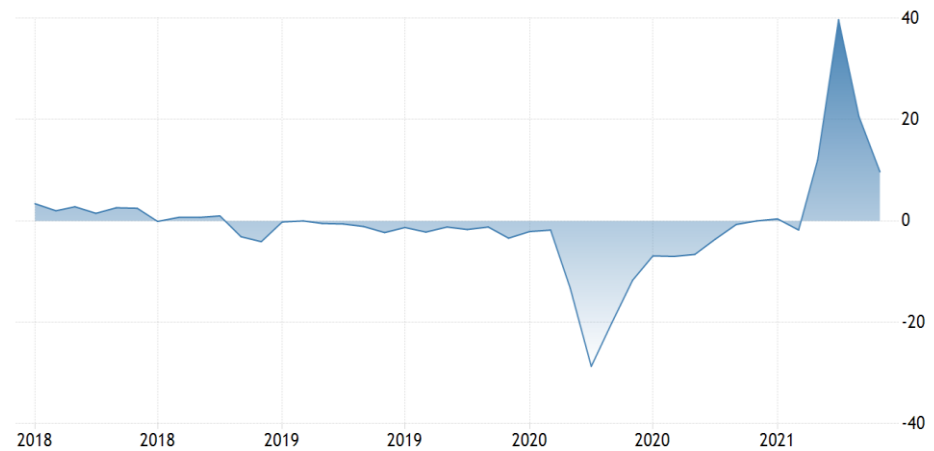
③前年比では中間財15.7%、エネルギー+2.9%、資本財+6.3%、耐久消費財+16.1%、非耐久消費財+9.8%。

④国別の前月比ではドイツ▲1.0%、仏+0.4%、伊+1.0%、スペイン+0.1%、ポルトガル▲2.6%、ギリシャ▲0.8%。

⑤前年比ではドイツ+6.5%、仏+7.3%、伊+13.9%、スペイン+11.3%、ポルトガル+10.0%、ポーランド+18.5%、ハンガリー+18.6%、ギリシャ+9.1%。



SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | EUROSTAT



SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | EUROSTAT

5. ユーロ圏の失業率は再び低下傾向

①6月のユーロ圏失業率(右図)は7.7%と前月より▲0.3ポイントの低下。前年同月より▲0.3ポイント低下。

②最低はチェコの2.8%、最高はギリシャ、スペインの15.1%。

③前年6月との比較では独3.9%→3.7%、仏7.4%→7.3%、伊は9.5%→9.7%、オランダ4.3%→3.2%、スペイン15.9%→15.1%、オーストリア7.7%→6.4%、ポルトガル7.5%→6.9%、アイルランド5.7%→7.6%。

④英国の失業率は4.7%と前月より▲0.1ポイント低下(英国統計局)。なお、英国が移行期を終えてEUから完全離脱したため、EU統計局(Eurostat)は英国の数値を掲載しなくなった。



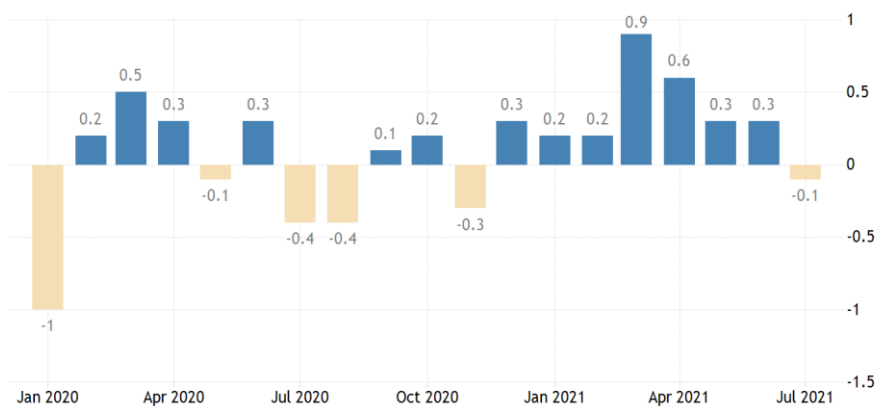
SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | EUROSTAT

6. ユーロ圏のインフレはエネルギーが主導

①7月のユーロ圏消費者物価の前年比(右下図)は+2.2%、前月比は▲0.1%(右上図)

②コアCPI(エネルギー・食料・アルコール・タバコを除く)の前年比は+0.7%、前月比は▲0.4%。

③項目別の前年比で食料・アルコール・タバコは5月+0.5%→6月+0.5%→7月+1.6%。エネルギーは+13.1%→+12.6%→+14.3%。非エネルギー工業品+0.7%→+1.2%→+0.7%。サービス+1.1%→+0.7%→+0.9%。



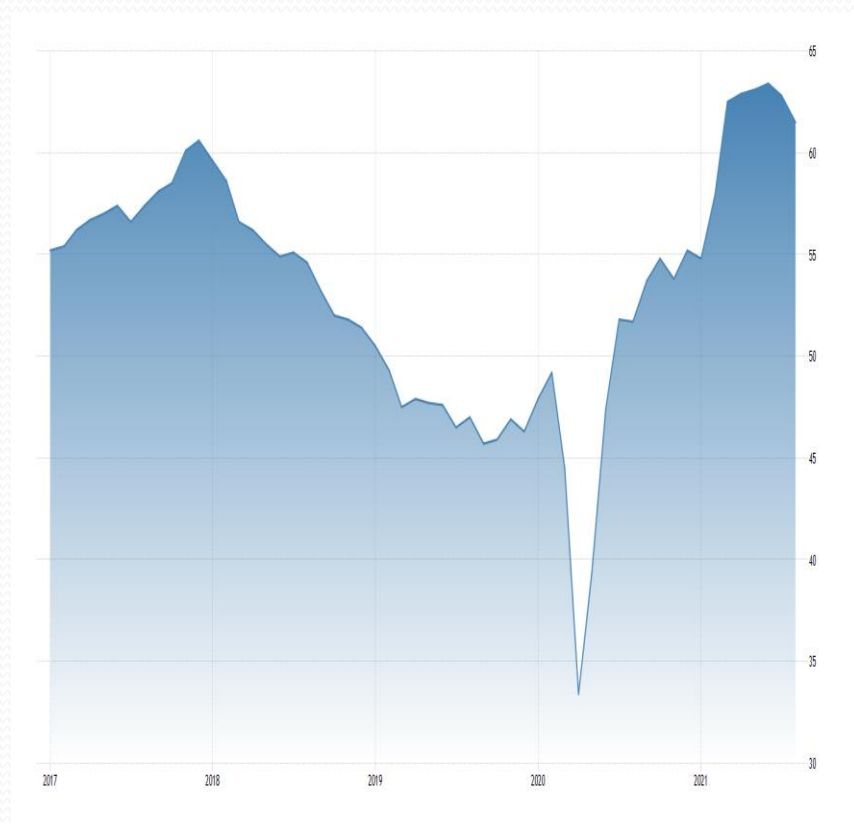
SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | EUROSTAT



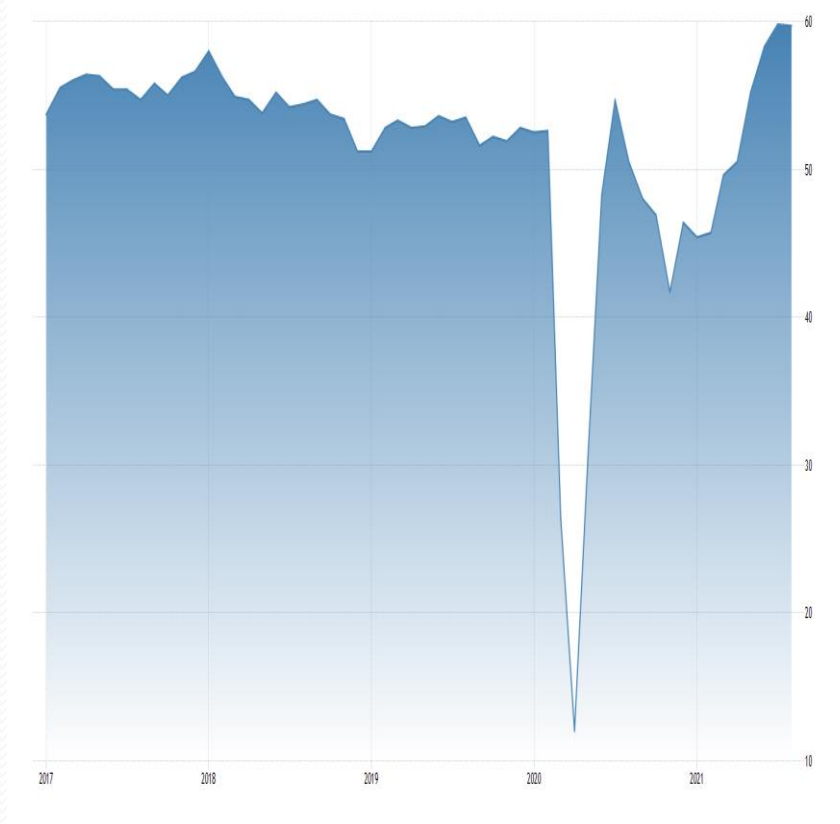
SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | EUROSTAT

7. ユーロ圏PMIは高水準続く

①製造業PMIは7月62.8→8月61.5



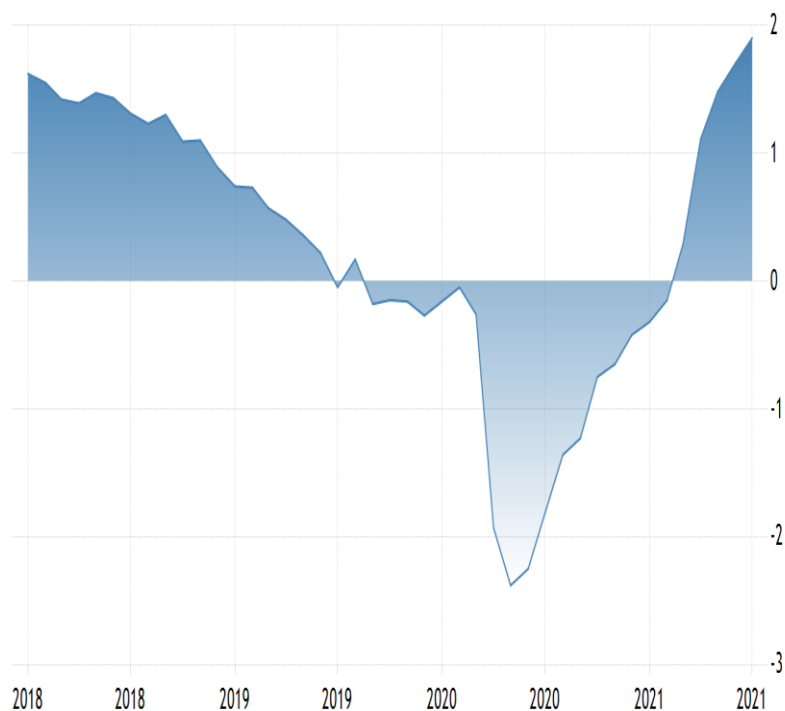
②サービス業PMIは7月59.8→8月59.7



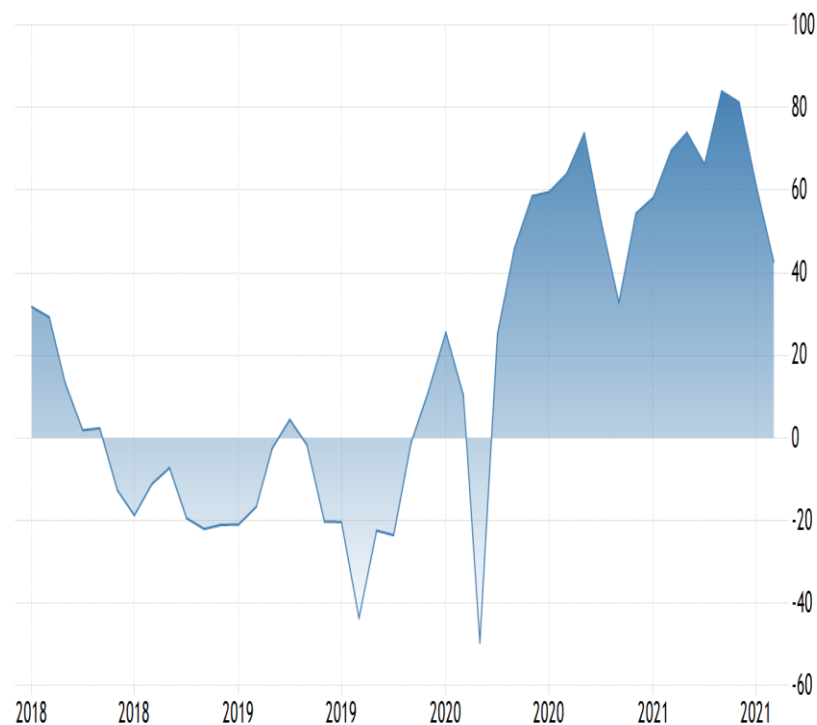
8. ユーロ圏の景気指数は高水準続く

①7月のユーロ圏業況指数 (EU委員会) は +1.9で前月比+0.2ポイント改善。

②8月のユーロ圏ZEW景気期待指数は前月比▲18.5 ポイント低下して+42.7



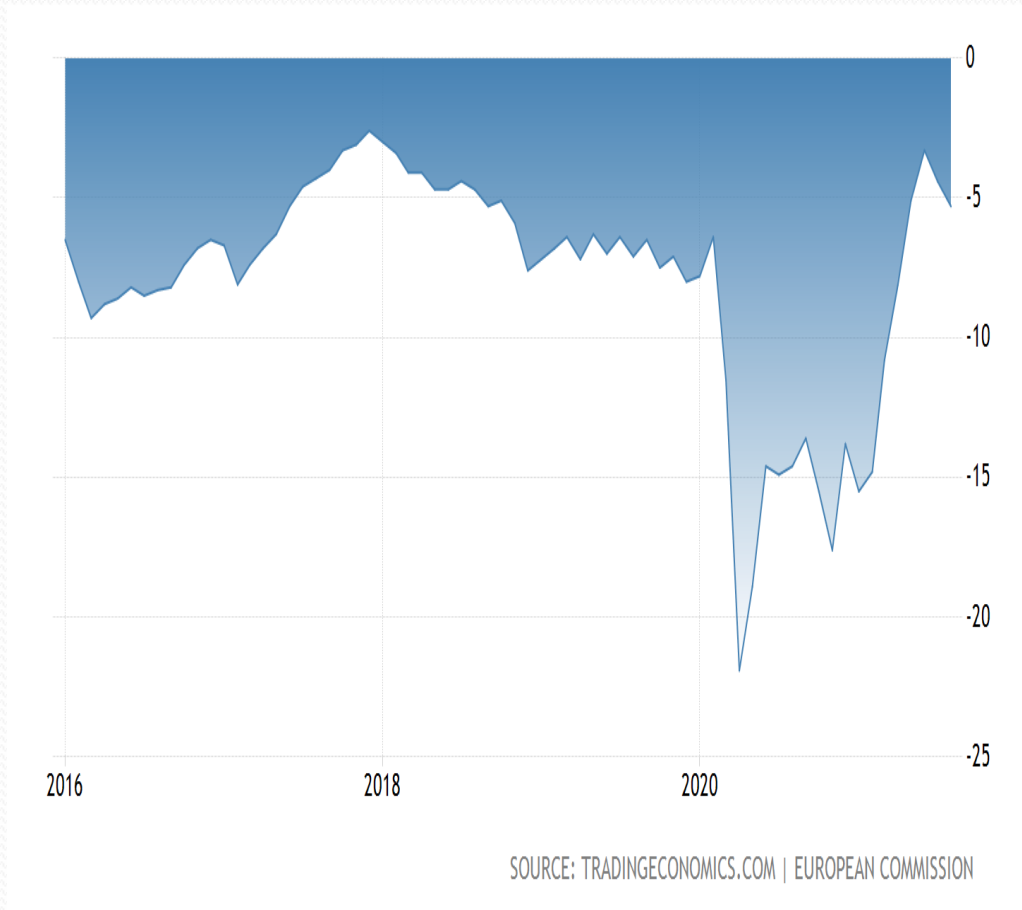
SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | EUROPEAN COMMISSION



SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | CENTRE FOR EUROPEAN ECONOMIC RESEARCH (ZEW)

9. ユーロ圏消費者信頼感指数は改善一服

欧州委員会が発表
した8月のユーロ圏
消費者信頼感指数
(右図)は前月より
▲0.9ポイント低下
して▲5.3。

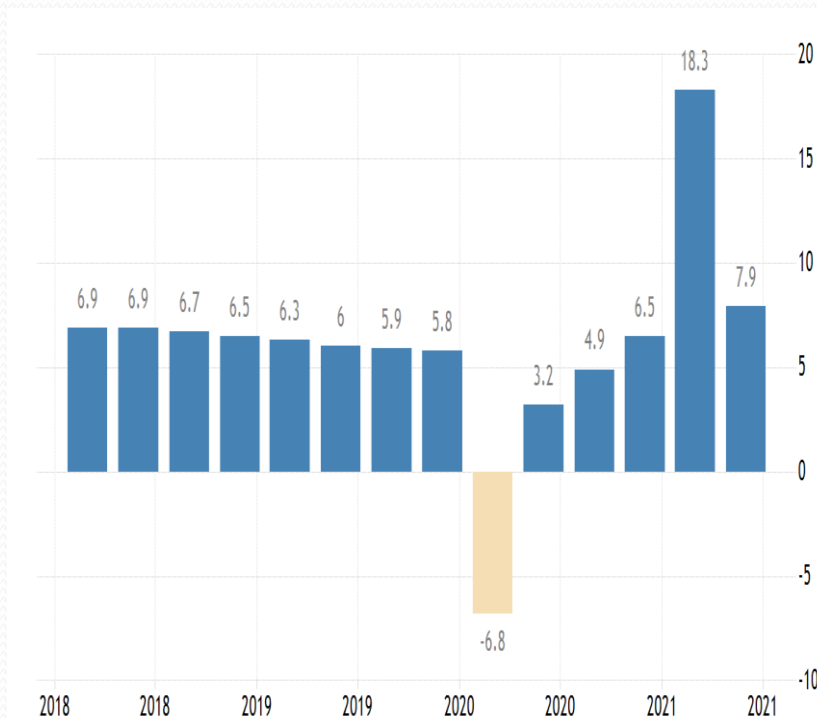


Ⅲ 中国經濟

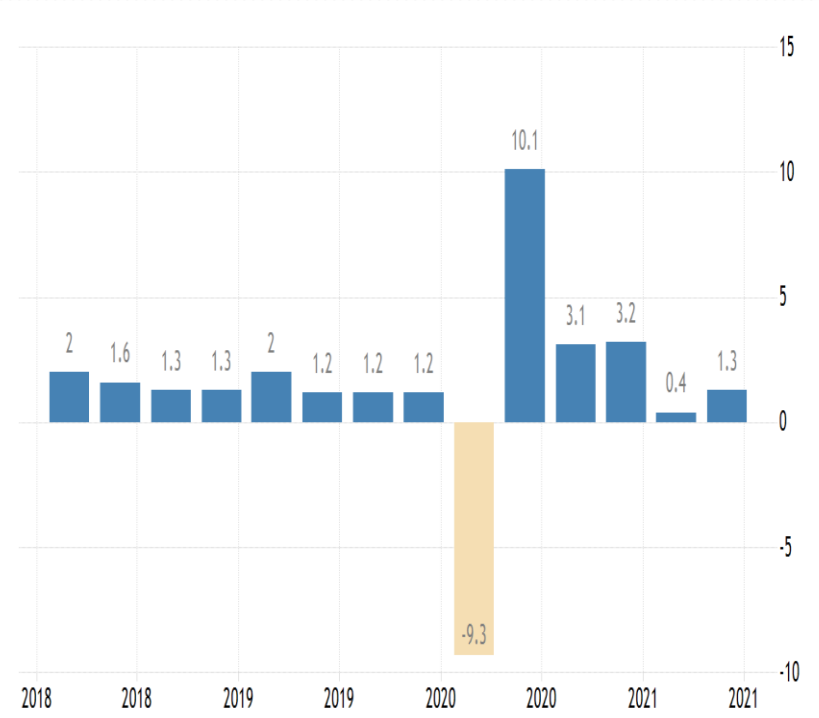
1. 中国の4～6月期GDPは徐々に潜在成長軌道に回帰

①前年比は+7.9%と徐々に巡航速度へ

②前期比は+1.3%とやや戻す



SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | NATIONAL BUREAU OF STATISTICS OF CHINA



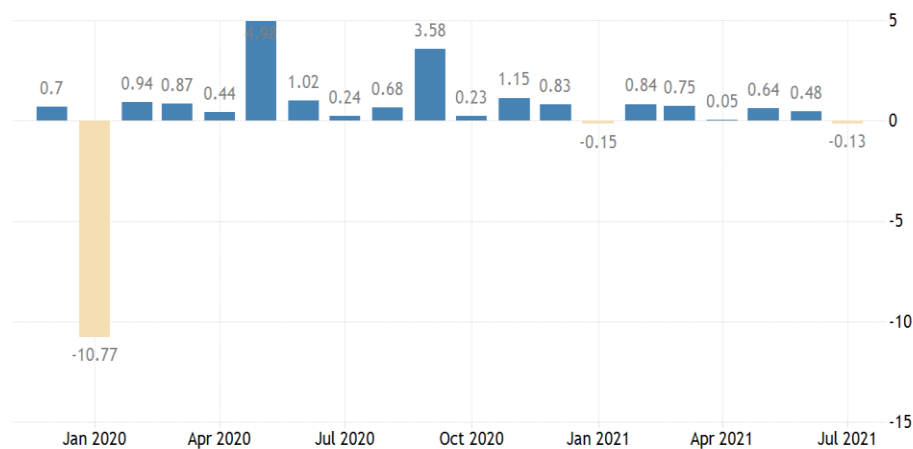
SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | NATIONAL BUREAU OF STATISTICS OF CHINA

2. 中国の個人消費の伸びは通常に戻る

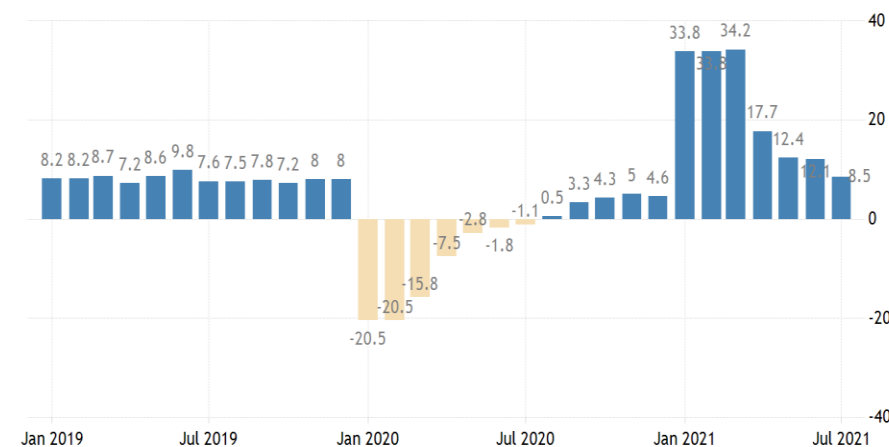
①7月の小売売上高(右下図)は前年比+8.5%。前月比(右上図)は▲0.13%。

②商品別の前年比は以下の通り

	5月	6月	7月
通信機材	+8.8% →	+15.9% →	+0.1%
自動車	+6.3% →	+4.5% →	▲1.8%
建設資材	+20.3% →	+19.1% →	+11.6%
家具	+12.6% →	+13.4% →	+11.0%
家庭電器	+3.1% →	+8.9% →	+8.2%
宝飾品	+31.5% →	+26.0% →	+14.3%
化粧品	+14.6% →	+13.5% →	+2.8%
石油製品	+20.3% →	+21.9% →	+22.7%
衣類	+12.3% →	+12.8% →	+7.5%
事務用品	+13.1% →	+25.9% →	+14.8%
医薬品	+7.3% →	+8.5% →	+8.6%
日用品	+13.0% →	+14.0% →	+13.1%
合計	+12.4% →	+12.1% →	+8.5%



SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | NATIONAL BUREAU OF STATISTICS OF CHINA

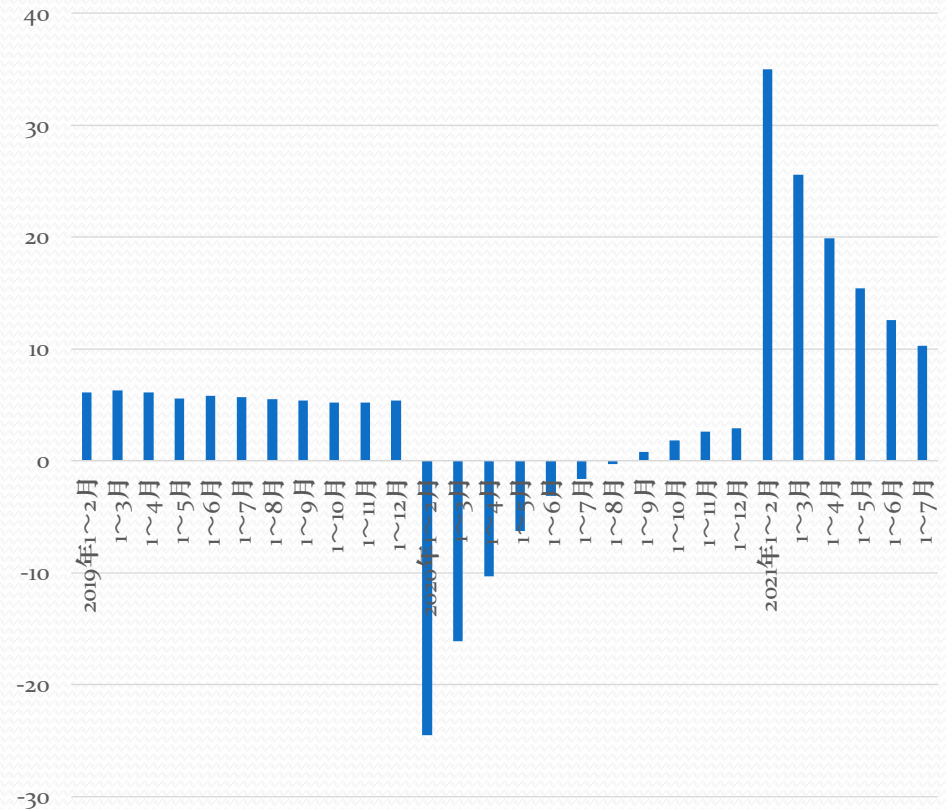


SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | NATIONAL BUREAU OF STATISTICS OF CHINA

3. 中国の固定資産投資の伸びは徐々に減速

- ①1～7月累計の固定資産投資は前年比+10.3%(右図)のプラス。
- ②民間投資は+13.4%、公共投資の伸びは+7.1%。
- ③鉱業は+8.9%。製造業+17.3%、うち食品製造+11.8%、紡績業+12.3%、化学+28.2%、医薬+18.7%、非鉄金属+12.7%、金属製品+14.6%、自動車製造▲3.5%、鉄道・船舶・航空+31.5%、電気機械+21.3%、コンピュータ・通信+25.4%。電力・ガス・水道は+1.7%、鉄道運輸は▲4.4%、道路運輸は+4.4%、水利環境公共施設+3.8%。

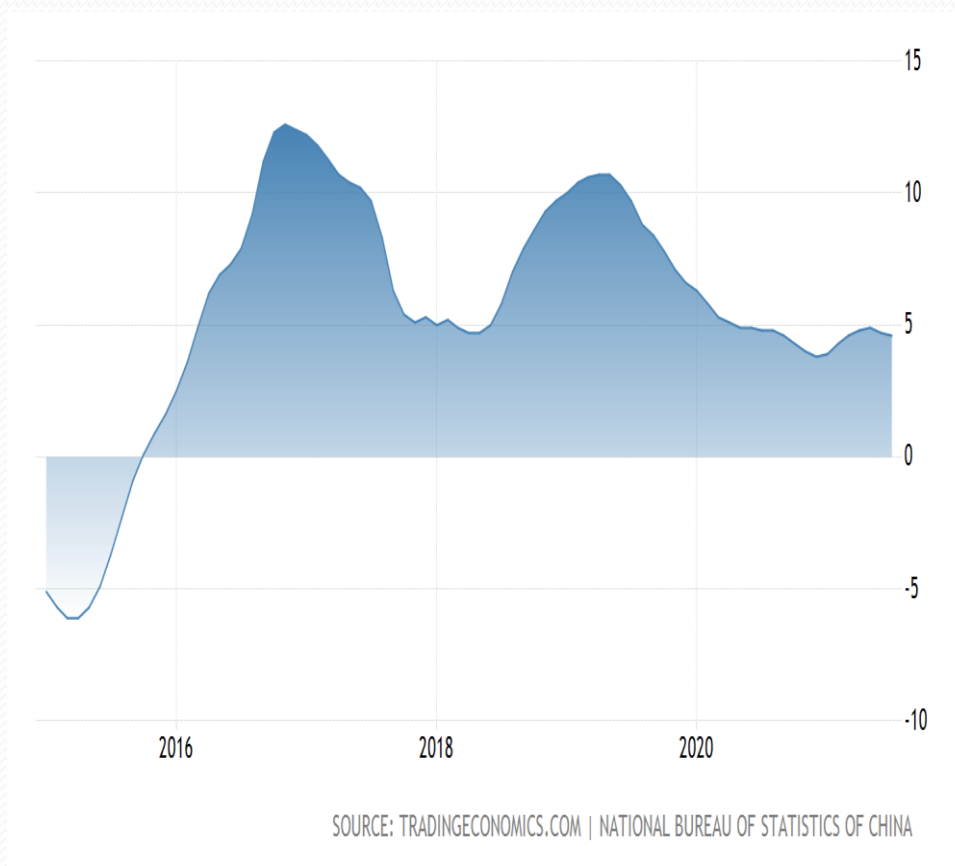
中国の固定資産投資(前年比、%)



4. 中国の住宅価格は安定した伸びが続く

①7月の70都市新築住宅価格は前月比+0.3%、前年比(右図)は+4.6%。前月比で上昇した都市が51都市、下落したのは16都市、横ばいは3都市だった。

②都市別の前年比では
北京+5.4%、大連+6.1%
長春+0.9%、上海+4.5%
南京+4.6%、武漢+6.5%
広州+10.9%、深圳+3.3%
成都+4.8%、西安+8.6%

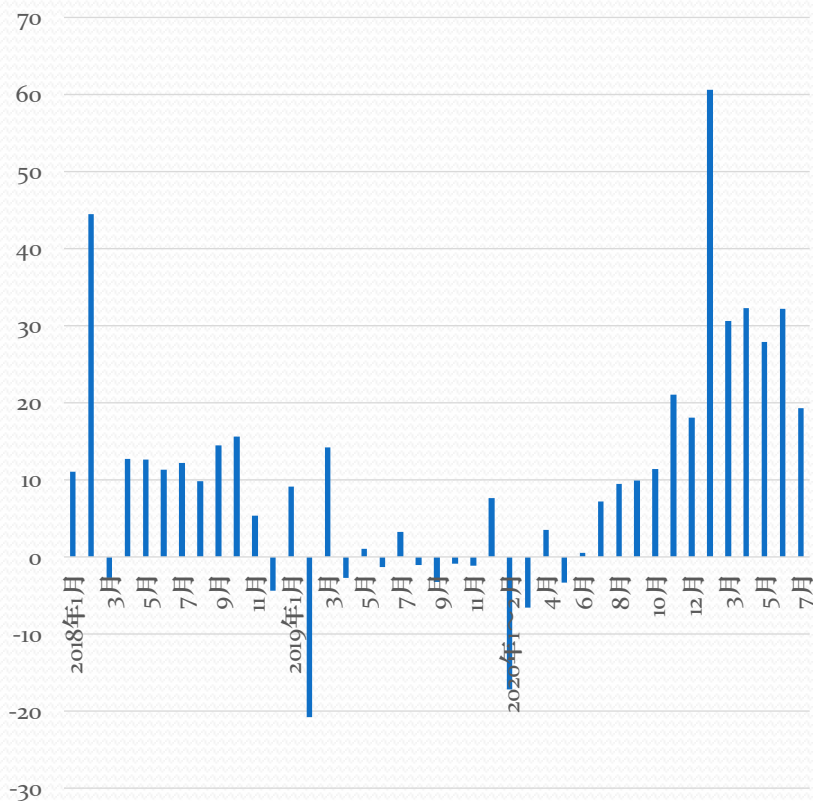


5. 中国の輸出入ともに伸びが緩和

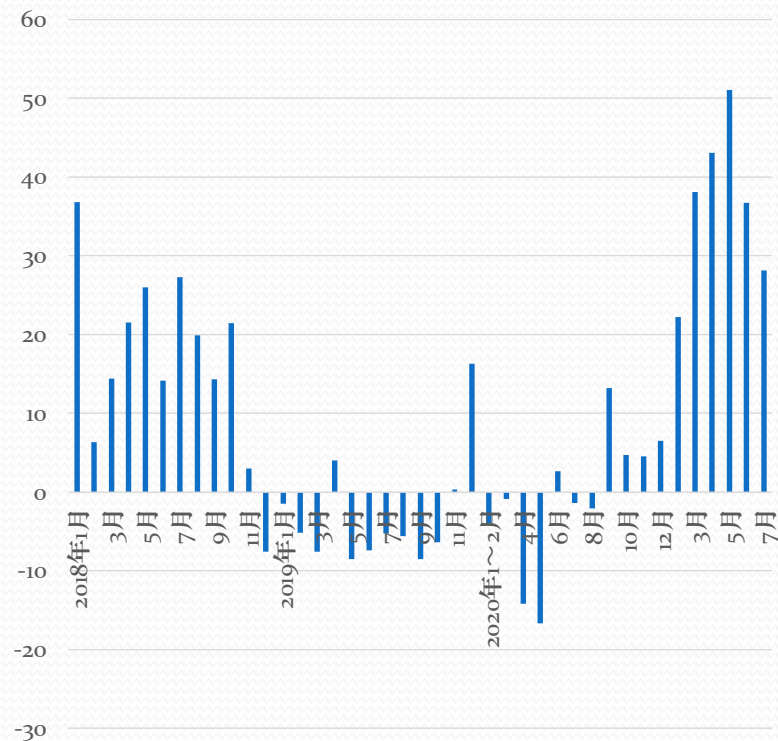
①7月の輸出の伸びはデルタ株拡散で前年比+19.3%と減速。対米輸出+13.4%。

②7月の輸入の伸びは前年比+28.1%。内需の伸びの緩和と国際商品価格の上昇が混在。対米輸入は+25.63%。

中国のドル建て輸出(前年比、%)



中国のドル建て輸入(前年比、%)

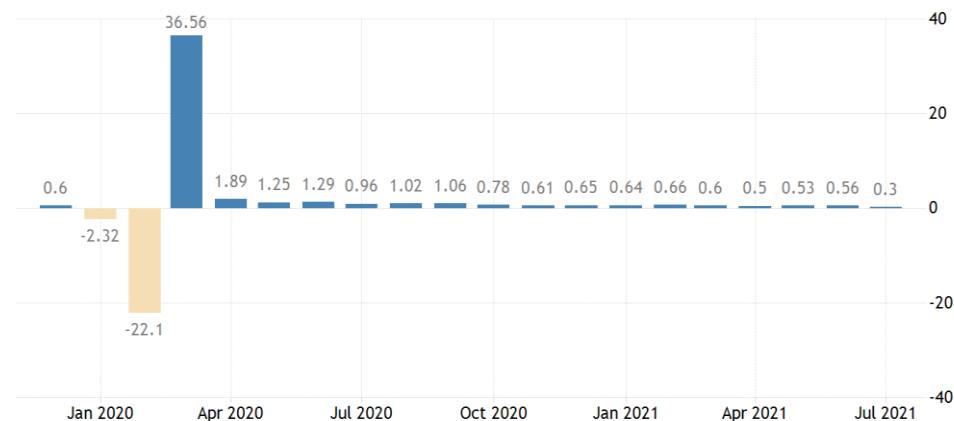


6. 中国の鋳工業生産の伸びは平常に戻る

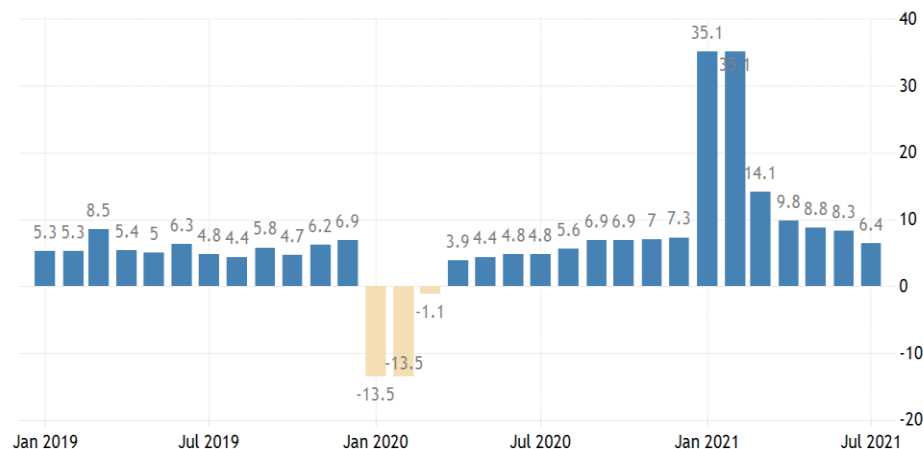
①7月の鋳工業生産の前年比(右下図)は+6.4%の伸び。前月比(右上図)は+0.3%。

②製造業の前年比は+6.2%。電気・ガス・水道は+13.2%、鋳業は+0.6%。

③食品製造は前年比+5.0%、紡績▲1.0%、化学+6.6%、医薬製造+25.3%、非金属鉱物製品+5.9%、鉄鋼▲2.6%、非鉄金属+2.3%、金属製品+12.7%、自動車▲8.5%、鉄道・船舶・航空機+4.6%、電気機械+10.3%、コンピュータ・通信+13.0%。



SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | NATIONAL BUREAU OF STATISTICS OF CHINA



SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | NATIONAL BUREAU OF STATISTICS OF CHINA

7. 中国PMIは製造業がやや弱い

①7月製造業PMIは50.3と前月より
▲1.0ポイントの低下。

②7月サービス業PMIは54.9と前月比
+4.6ポイントの上昇。



8. 中国のPPIは商品市況上昇と天候不順が寄与

①7月の消費者物価の前年比(左図)は+1.0%で前月を▲0.1ポイント下回る。前月比は+0.3%。

②7月の生産者物価の前年比(右図)は+9.0%と前月を+0.2ポイント上回る。前月比は+0.9%。



SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | NATIONAL BUREAU OF STATISTICS OF CHINA



SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | NATIONAL BUREAU OF STATISTICS OF CHINA



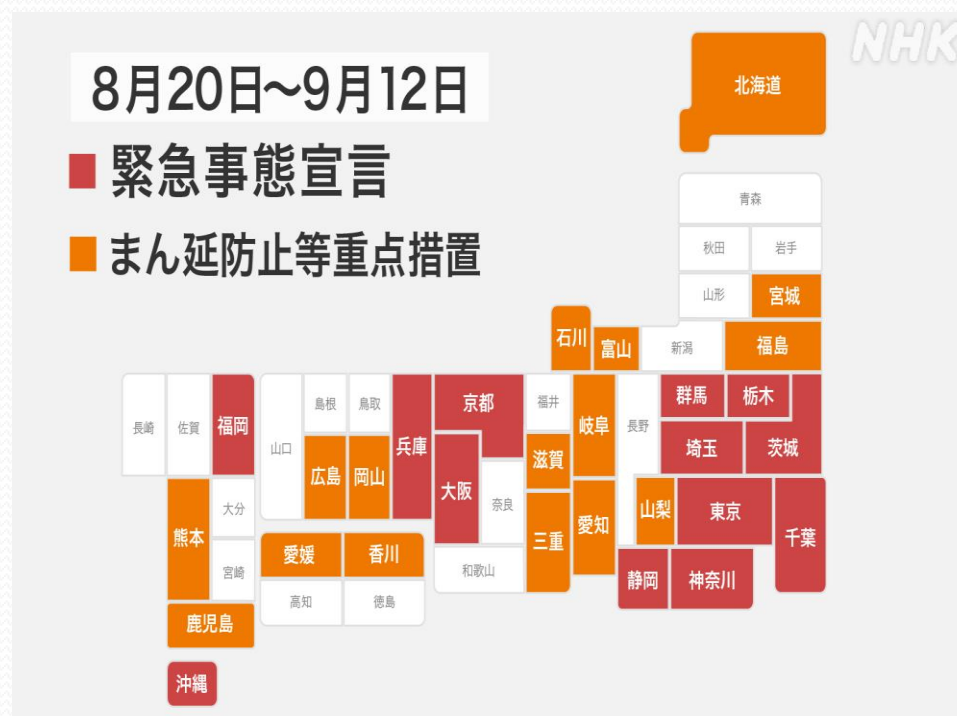
IV 日本經濟

1. 緊急事態宣言が12都府県に発令

①新型コロナ新規感染者数の激増を受けて、政府は既に緊急事態宣言が発動中の東京、大阪、神奈川、千葉、埼玉、沖縄に加えて、群馬、栃木、静岡、京都、兵庫、福岡の6府県に緊急事態宣言の発令(8月20日～9月12日)を決定した。

②また、まん延防止等重点措置対象は北海道、石川に加えて、宮城、福島、富山、岐阜、山梨、愛知、滋賀、三重、岡山、広島、香川、愛媛、熊本、鹿児島、沖縄の14県に発令した。

③これまでまん延防止等重点措置対象だった京都、兵庫、福岡の3府県は①のように緊急事態宣言に移行した。



2. 4～6月期のGDPはプラスだが回復力は弱い

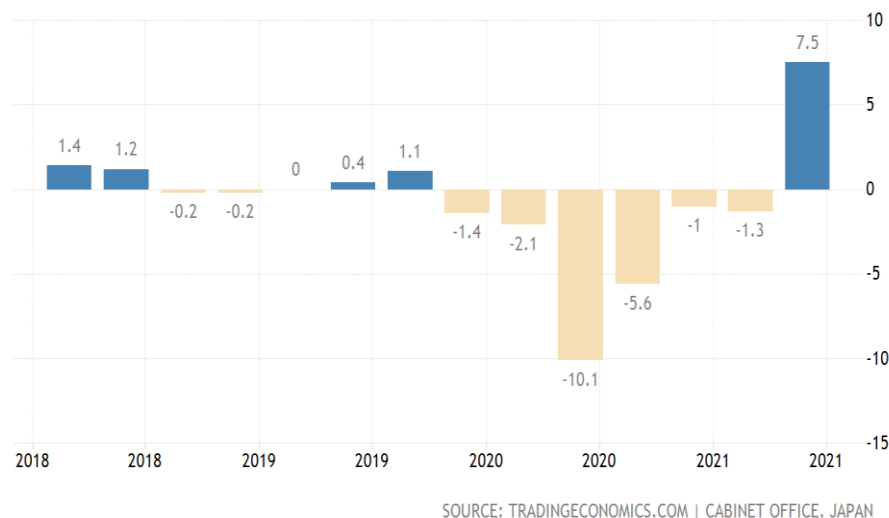
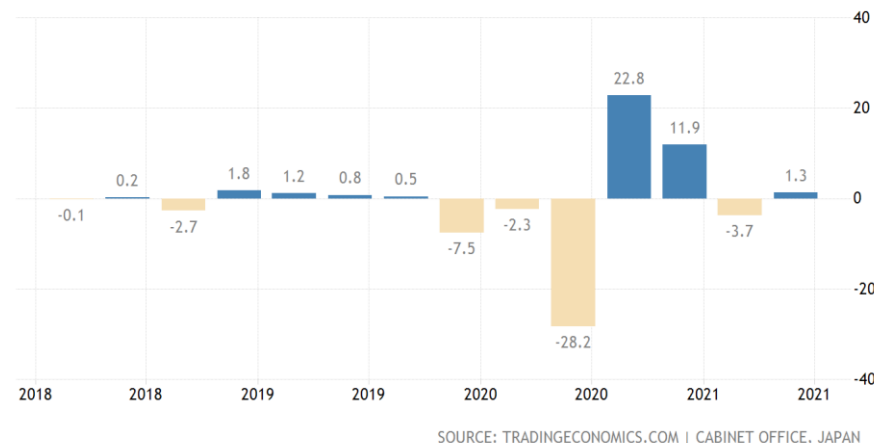
①4～6月期の実質GDP(1次速報)は前期比+0.3%、前期比年率+1.3%(右上図)のプラス成長だったが、金額は538.7兆円と2019年7～9月期の557.8兆円に戻っていない。内需の寄与度は+0.6%、外需▲0.3%。実質GDPの前年同期比(右下図)は+7.5%と7四半期ぶりにプラス。

②4～6月期の名目GDPは前期比+0.1%、前期比年率+0.2%、前年比は+6.7%。GDPデフレーターは前期比▲0.3%、前年比は▲0.7%。

③需要項目別で民間最終消費支出は前期比+0.8%(年率+3.4%)、寄与度は+0.5%。民間企業設備は前期比+1.7%(年率+7.0%)、寄与度は+0.3%。民間住宅は前期比+2.1%(年率+8.6%)、寄与度+0.1%。民間在庫変動の寄与度▲0.2%。

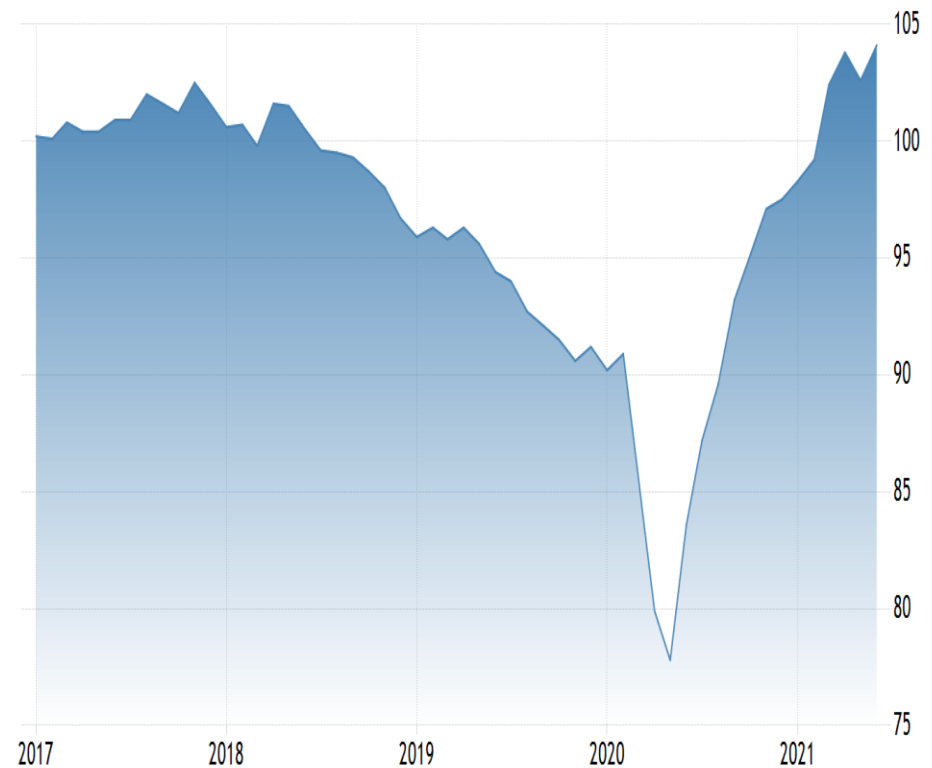
④政府最終消費は前期比+0.5%(年率+2.0%)、公的固定資本形成は前期比▲1.5%(年率▲5.7%)で、政府支出合計の寄与度は0.0%。

⑤輸出は前期比+2.9%(年率+12.3%)と4期連続のプラス、輸入は前期比+5.1%(年率+21.9%)。



3. 景気動向指数は改善傾向が続く

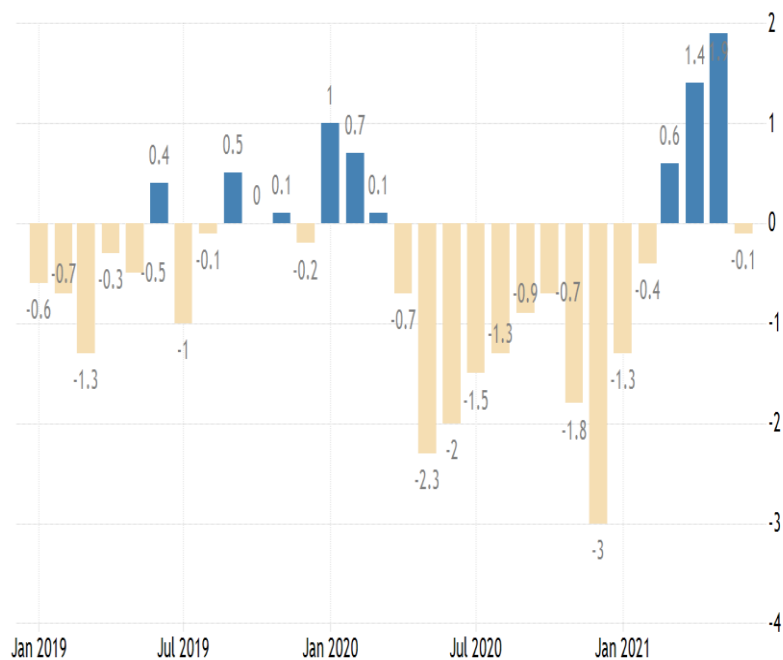
- ①6月の先行指数速報値(右図)は104.1で、前月比+1.5ポイントと2ヶ月ぶりの上昇
- ②一致指数は94.0で前月比+1.9ポイントと2ヶ月ぶりの上昇。
- ③遅行指数は96.5で前月比+3.3ポイントと2ヶ月ぶりの上昇。
- ④内閣府の基調判断(一致指数)は「改善を示している」に据え置き。



SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | CABINET OFFICE, JAPAN

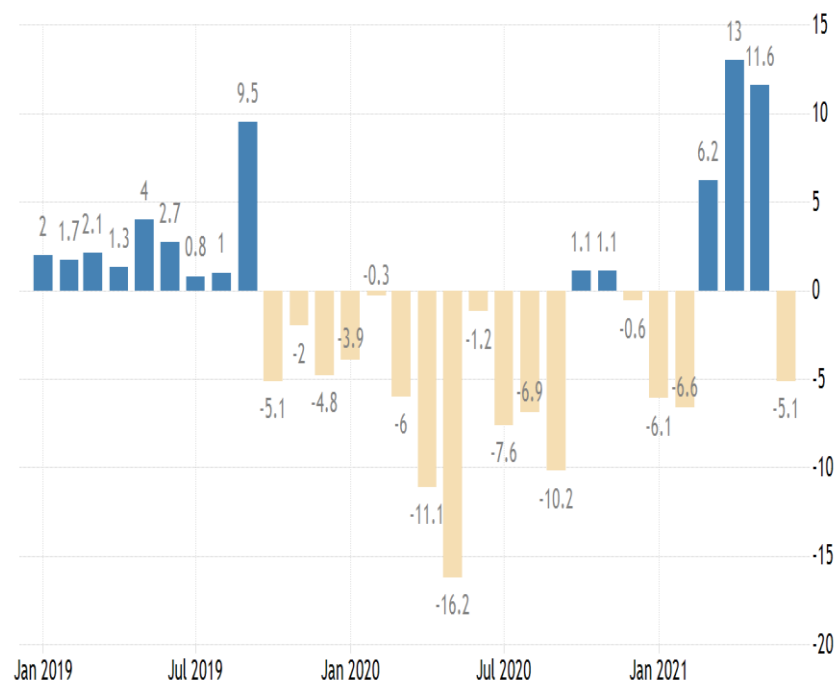
4. 日本の賃金、個人消費ともに下落

(1) 6月の現金給与総額の前年比は▲0.1% (下図) と4ヶ月ぶりのマイナス。所定内給与は+0.3%。所定外給与+18.3%、特別給与▲2.3%。実質賃金の伸びは▲0.4%。



SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | MINISTRY OF HEALTH, LABOUR AND WELFARE, JAPAN

(2) 6月の家計消費は前年比で名目▲4.9%、実質は▲5.1% (下図) と再び悪化。昨年の10万円の特別定額給付金支給の反動か。

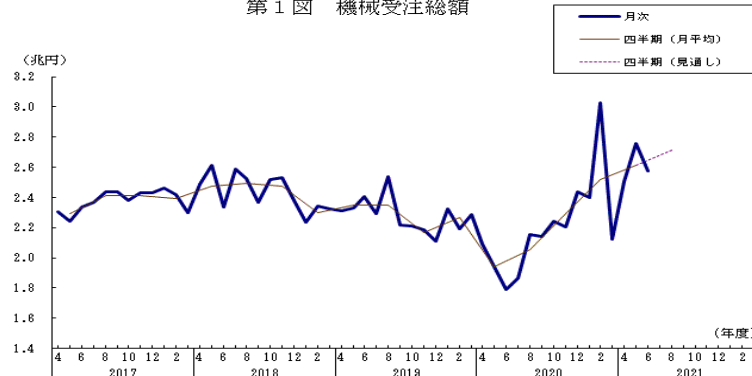


SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | MINISTRY OF INTERNAL AFFAIRS & COMMUNICATIONS

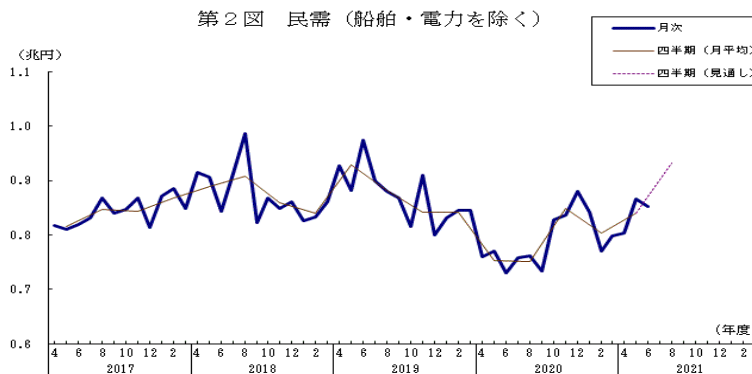
5. 機械受注は持ち直しの動き続く

- ①民間設備投資の先行指標である6月の機械受注「船舶・電力を除く民需」(右下図)は前月比▲1.5%。前年比+18.6%。
- ②製造業受注は前月比3.6%、前年比は+30.2%。前月比で17業種中、非鉄金属、窯業・土石製品など11業種が増加。石油製品・石炭製品、造船業など6業種が減少
- ③非製造業受注(船舶・電力を除く)は前月比+3.8%、前年比+9.8%。前月比で12業種中、鉱業・採石・砂利採取業、卸売業・小売業など10業種が増加。通信業など2業種が減少。
- ④内閣府の基調判断は「持ち直しの動きがみられる」に据え置き。

第1図 機械受注総額



第2図 民需(船舶・電力を除く)



(備考)

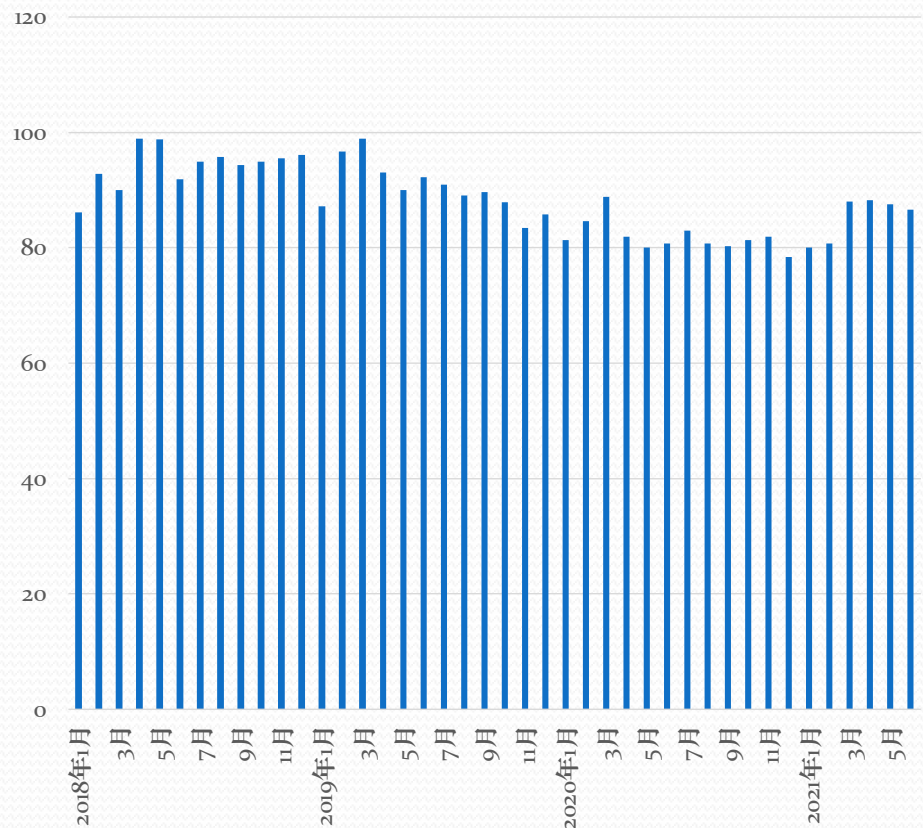
1. 四半期(月平均)は季節調整済みの月平均値を期央月の位置に表示(例えば7~9月の月平均値は8月の位置に表示)。
2. 「2021年7~9月(見通し)」の計数は、「見通し調査(2021年6月末時点)」の季節調整値を3で割った数値。

6. 住宅着工戸数は回復傾向続く

①6月の住宅着工戸数は76,312戸で前年比は+7.3%と4ヶ月連続の増加。季調済年率で86.6万戸(右図)、前月比は▲1.0%と2ヶ月連続の減少。

②持家は26,151戸、前年比は+10.6%と8ヶ月連続の増加。貸家は29,802戸、前年比は+11.8%と4ヶ月連続の増加。分譲住宅は19,877戸、前年比は▲1.5%。分譲マンションは70,244戸、前年比は▲16.6%と4ヶ月ぶりの減少。分譲一戸建て住宅は12,654戸、前年比は+8.5%で2ヶ月連続の増加

日本の住宅着工戸数(季調済年率、万件)

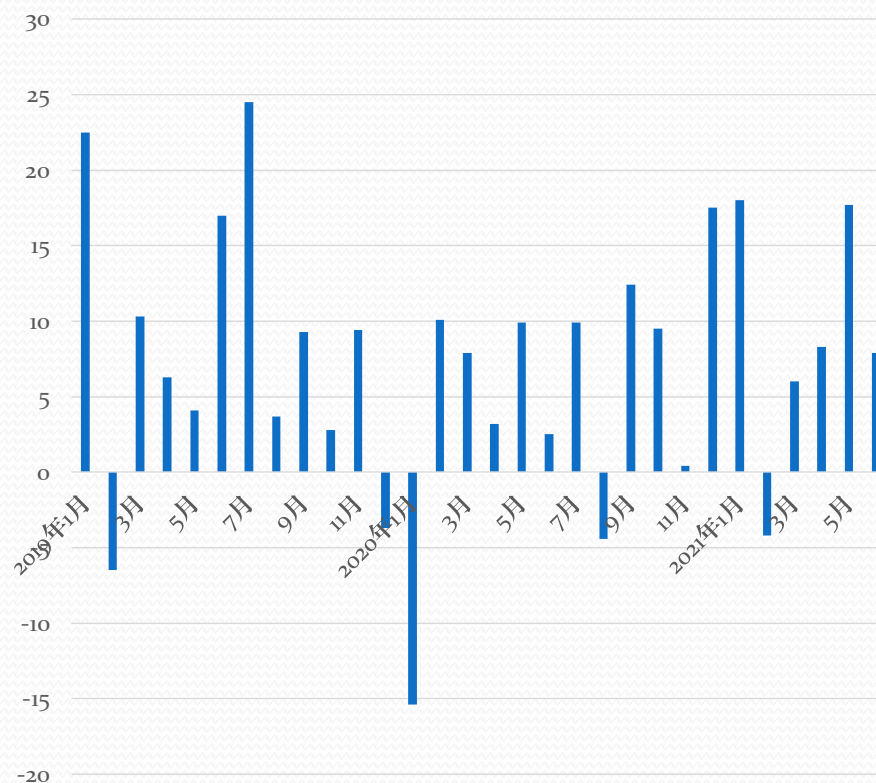


7. 公共工事受注は増加傾向が続く

①6月の公共工事受注は前年比+7.9%と4ヶ月連続の増加。(注:4月からの推計方法の変更により、右図の伸び率のデータは連続性がない)

②工事分類別では土木工事は+12.9%、建築工事・建築設備工事+0.4%、機械装置等工事+3.2%。

公共機関からの受注工事(前年比、%)



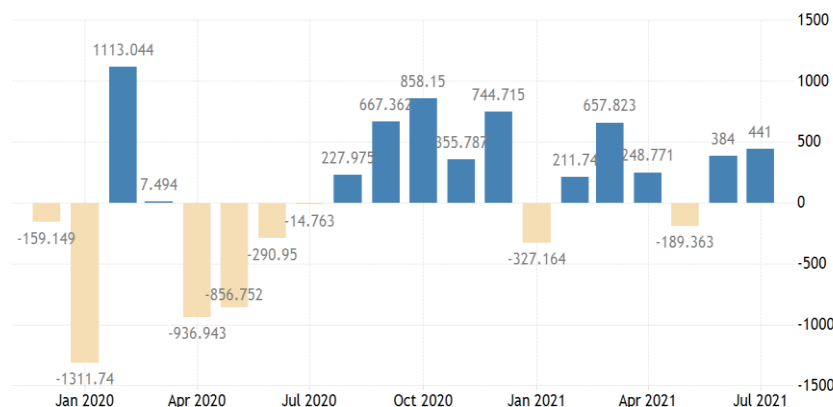
8. 輸出入ともに前年の反動で高い伸び

①7月の貿易収支は前年比+4,558億円改善して+4,410億円(右上図)と黒字転換。輸出は前年比+37.0%、金額は7兆3,564億円。数量(右下図)は前年比+25.2%、価格は前年比+9.5%。輸入は前年比+28.5%、金額は6兆9,154億円。数量前年比+2.1%、価格前年比+25.9%。

②地域別輸出でアジア向けは+32.5%(うち中国+18.9%、香港+18.5%、台湾+39.9%、韓国+24.5%、タイ+99.5%、インドネシア+133.4%、インド+72.8%)、米国+26.8%、西欧+34.5%、中東+81.8%

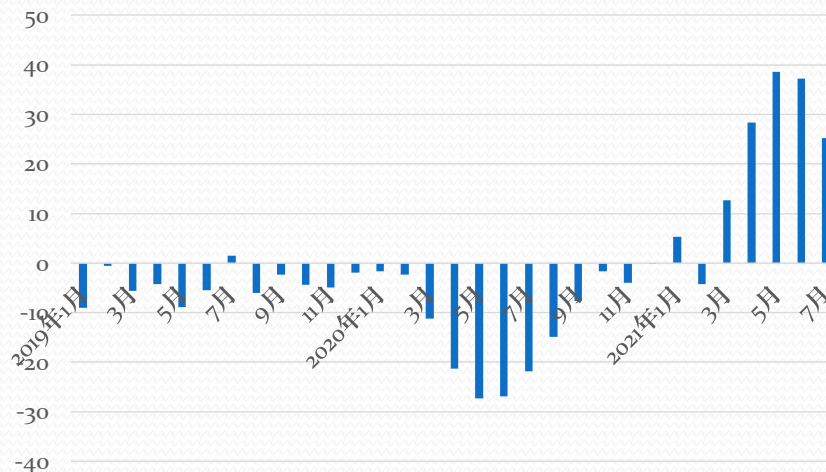
③商品別輸出は自動車+43.5%、自動車部品+60.1%、鉄鋼+88.3%など多くの項目でプラス。

④商品別輸入は鉱物性燃料+79.6%(原油及び粗油+116.0%、石油製品+98.5%、LNG+41.9%、石炭+68.7%)、鉄鉱石+206.6%、非鉄金属+81.9%、自動半導体等電子部品+38.8%が高い伸び。



SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | MINISTRY OF FINANCE, JAPAN

日本の輸出数量(前年比、%)



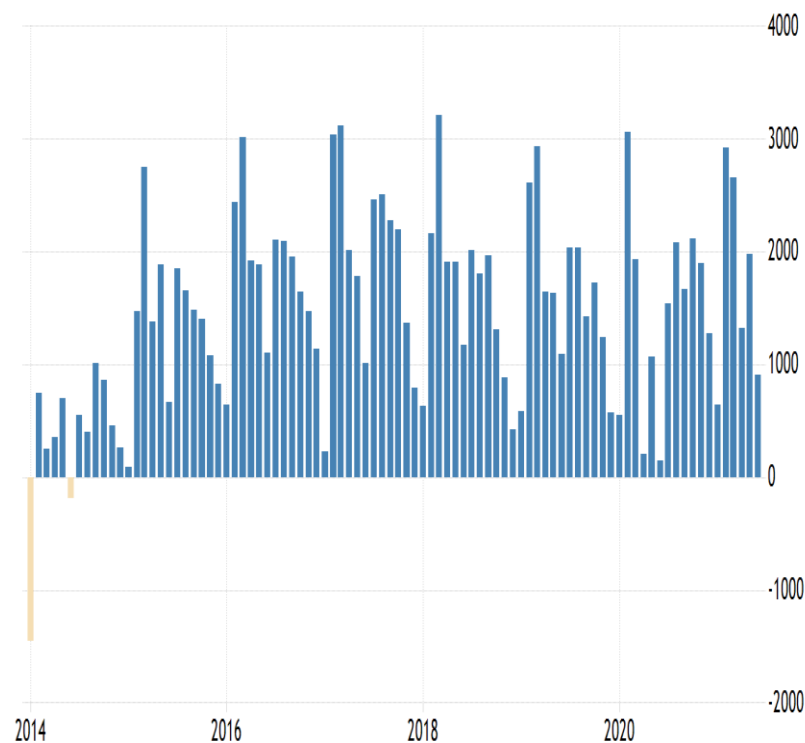
9. 経常収支は貿易、所得収支改善が寄与

①6月の経常収支(右図)は前年比7,568億円黒字が増加して、9,051億円の黒字となった。

②貿易収支は前年比6,657億円黒字が増加して6,485億円の黒字に転化。輸出は前年比+47.7%の7兆1,374億円、輸入は前年比+33.8%で6兆4,889億円。

③サービス収支は▲675億円悪化して▲3,464億円の赤字。

④第一次所得収支は直接投資収益の黒字幅拡大により、+2,133億円黒字幅が拡大して6,805億円の黒字。第二次所得収支は▲548億円悪化して▲776億円の赤字



SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | MINISTRY OF FINANCE, JAPAN

10. 日本の雇用回復は緩やか

①6月の就業者数は原系列で6,692万人、前年比+22万人と3ヶ月連続の増加。季調済(右上図)では6,666万人で前月比+21万人の増加。原系列で雇用者数は5,980万人、前年比+51万人で3ヶ月連続の増加。正規は3,576万人、前年比+15万人で13ヶ月連続の増加、非正規は2,075万人、前年比+31万人と3ヶ月連続の増加。

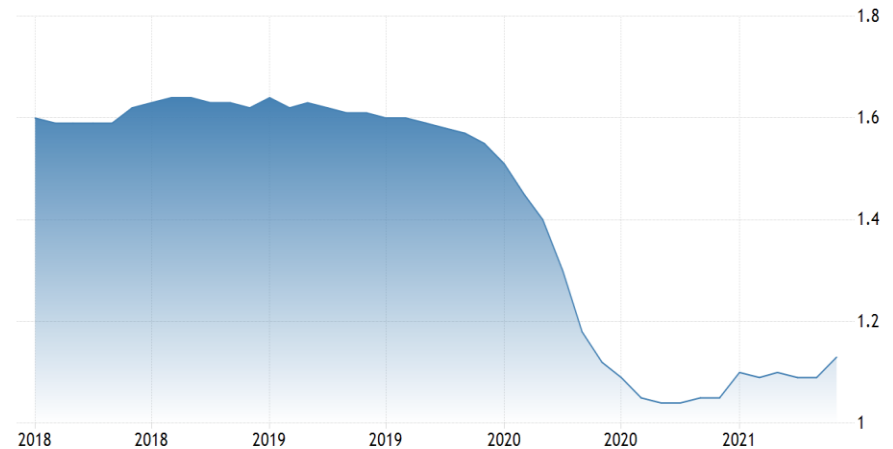
②産業別就業者の前年比では卸売業・小売業+49万人、情報通信業+26万人、宿泊業・飲食サービス業+13万人が増加。教育・学習支援業▲23万人、農業・林業▲11万人、建設業▲8万人が減少。

③完全失業者数206万人で前年比+11万人増加。完全失業率は2.9%と前月より▲0.1ポイントの低下。

④有効求人倍率(右下図)は1.13倍で前月より+0.4ポイントと上昇。



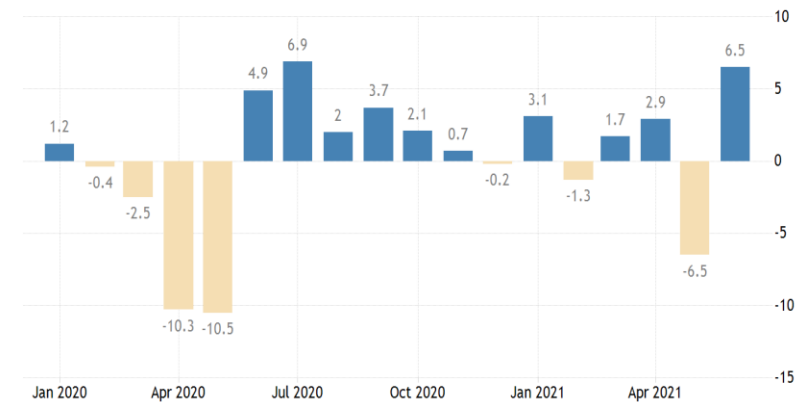
SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | STATISTICS BUREAU OF JAPAN



SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | MINISTRY OF HEALTH, LABOUR AND WELFARE, JAPAN

11. 鉱工業生産の回復傾向は持続

- ①6月の鉱工業生産指数(確報)は99.6で、前月比(右上図)は+6.5%の上昇。前年比は+23.0%(右下図)と4ヶ月連続プラス且つ前年の反動増
- ②業種別前月比で自動車工業+22.6%、生産用機械工業+10.3%、化学工業+5.1%などが上昇。輸送機械工業(除く自動車)▲7.8%などが低下
- ③業種別前年比で自動車工業+63.7%、鉄鋼・非鉄金属工業+44.2%、電子部品・デバイス工業+29.1%、生産用機械工業+28.6%、汎用・業務用機械工業+24.7%、無機・有機化学工業+23.4%、電気・情報通信機械工業+22.6%などが上昇。
- ④7月の製造工業生産予測指数は前月比▲1.1%の低下、8月は+1.7%の上昇を予想。
- ⑤設備投資の先行指標である資本財(輸送機械を除く)出荷は前月比+4.6%、前年比+23.8%。
- ⑥経産省は基調判断を「生産は持ち直している」に据え置き。



SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | MINISTRY OF ECONOMY TRADE & INDUSTRY (METI)



SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | MINISTRY OF ECONOMY TRADE & INDUSTRY (METI)

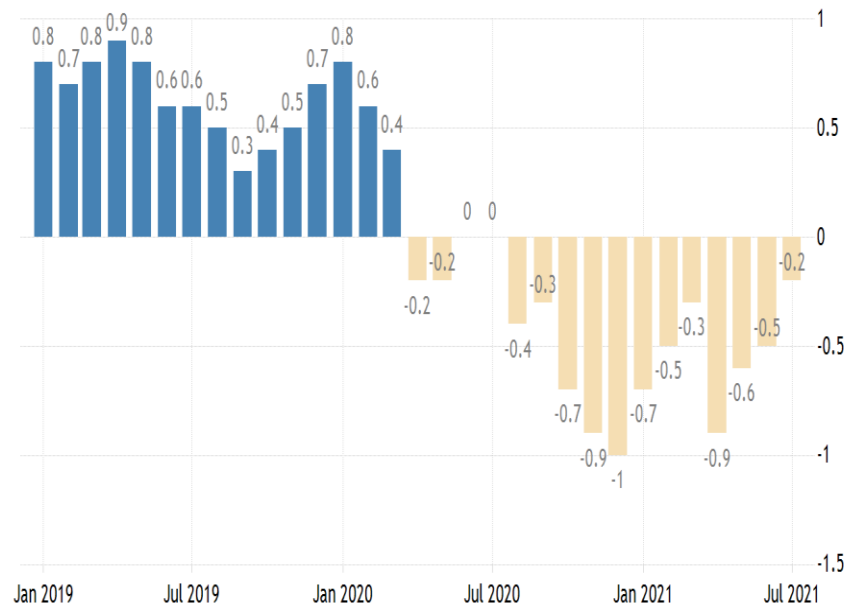
12. 消費者物価の伸びはマイナス続く

①7月のコア消費者物価(生鮮食品を除く総合)の前年比(右図)は▲0.2%とマイナス持続。前月比(季調済)は+0.4%。

②総合消費者物価の前年比は▲0.3%、前月比(季調済)は+0.2%。エネルギーの前年比は+5.8%、寄与度は+0.41%。食料の前年比は▲0.6%で寄与度は▲0.15%

③コアコア消費者物価(食料『酒類を除く』及びエネルギーを除く)の前年比は▲0.6%、前月比(原数値)は+0.2%。

④項目別前年比で上昇したのは火災・地震保険料+15.8%、ガソリン+19.6%、灯油+25.2%、宿泊料+17.3%。下落は通信料(携帯)▲39.6%など。



SOURCE: TRADINGECONOMICS.COM | STATISTICS BUREAU OF JAPAN



V マーケット動向

1. ドル円は110円近辺で一進一退の動き



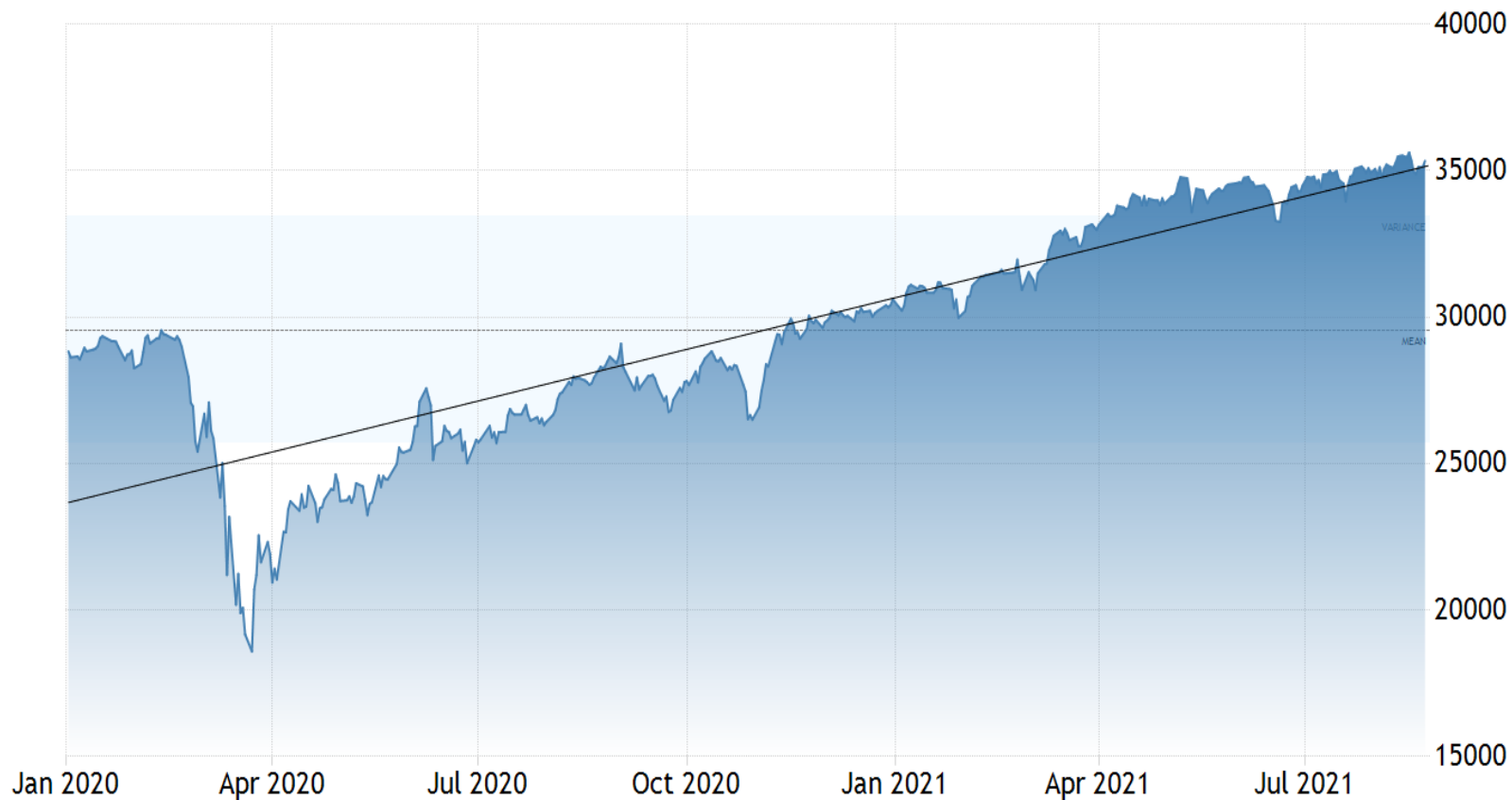
2. ユーロ/ドルはECBの緩和バイアスで弱含み



3. 人民元は対ドルの高値水準で安定



4. NYダウは上昇トレンド崩れず



5. 日経平均は頭が重い状態が続く



6. 独株価 (DAX) は堅調な動きが続く



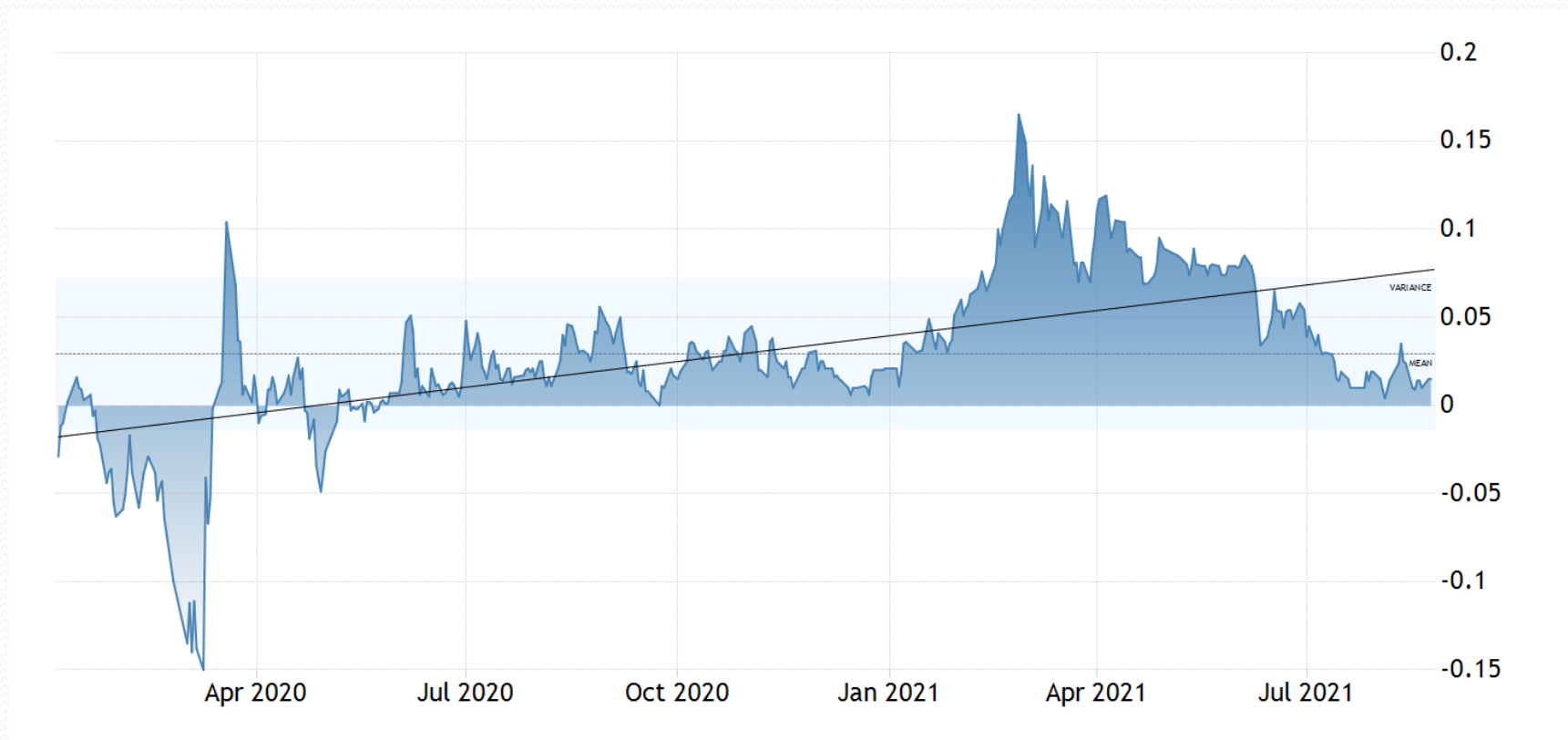
7. 上海株価は一進一退の動き続く



8. 米長期金利の修正局面(下方)が終わる



9. 日本の長期金利はゼロ近傍の動き



10. 独長期金利はマイナス金利幅拡大終わる



11. 中国の長期金利低下は底打ちの兆し



12. ブレント原油価格は高値圏の推移



13. 金価格は一進一退の動き





完